I·O DATA

ET-PS1
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

11003-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器 PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)

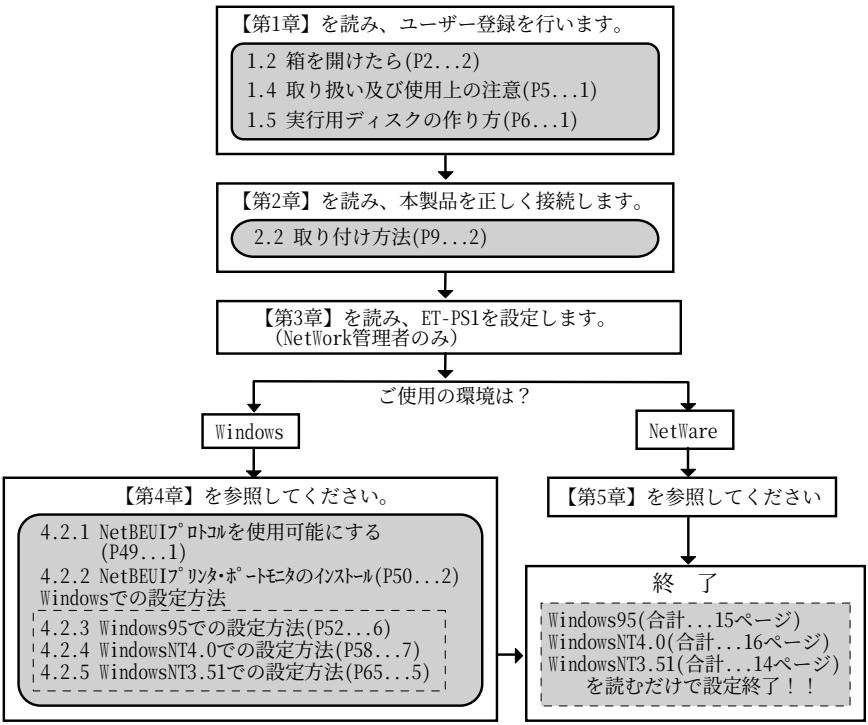
●I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windows,WindowsNT,MS,MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
●NetWareは、米国 Novell, Inc.の登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびはET-PS1をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ET-PS1は、ネットワーク上の各種パソコンからET-PS1に接続されたプリンタで印刷するための装置とソフトウェアです。ET-PS1をネットワークに設置することで、ネットワークによる統合的な印刷を実現することができます。
ET-PS1の機能を充分にご理解いただき、効果的にご利用いただくために、必ずご使用前に本書をお読みください。

本書をご覧になるにあたって

・本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。
最も簡単なインストールを行う場合は、グレー表示の部分のみお読みください。(この場合は、Windows環境のNetBEUIプロトコルでの設定となります。)



・呼び方

呼び方	意　味
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
WindowsNT4.0	Microsoft®WindowsNT®Operating System Version4.0
WindowsNT3.51	Microsoft®WindowsNT®Operating System Version3.51
Windows	Windows95，WindowsNT4.0 及び WindowsNT3.51の総称
NetWare4.xJ	Novell NetWare4.1J/4.11J
NetWare3.xJ	Novell NetWare3.12J/3.2J
NetWare	Novell NetWare3.12J/3.2J/4.1J/4.11J の総称

・ハードウェア構成

本書では、以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合

《ドライブ構成》

A：フロッピィディスク装置3.5インチ(1.44MB/720KB)

C：ハードディスク装置
ご使用になるOSがインストール済みで起動可能

D：CD-ROM装置

PC-9800シリーズの場合

《ドライブ構成》

A：ハードディスク装置
ご使用になるOSがインストール済みで起動可能

B：ハードディスク装置

C：フロッピィディスク装置3.5インチ
(1.44MB/1.25MB/720KB)

D：CD-ROM装置

はじめに i
目次 iii

第1章 ご使用になる前に 1
1.1 特徴 1
1.2 箱を開けたら 2
1.3 動作環境 4
1.4 取り扱い及び使用上の注意 5
1.5 実行用ディスクの作り方 6

第2章 ET-PS1の取り付け方法 7
2.1 各部の名称・機能 7
2.2 取り付け方法 9

第3章 管理ユーティリティ 11
3.1 IOADMINとは 11
3.2 IOADMINのインストール 12
3.3 IOADMINによるET-PS1の設定 16
3.3.1 IOADMINの基本操作 17
3.3.2 NetBEUI用設定（Windows環境） 22
3.3.3 TCP/IP用設定（Windows環境） 23
3.3.4 IPX/SPX用設定（NetWare環境） 25

第4章 Windows環境での設定 46
4.1 概要 46
4.2 ET-PS1プリントサーバの設定（NetBEUIの場合） 49
4.2.1 NetBEUIﾌﾟﾛﾄｺﾙを使用可能にする 49
4.2.2 NetBEUIプリンタ・ポートモニタのインストール 50
4.2.3 Windows95での設定方法 52

4.2.4 WindowsNT4.0での設定方法 58
4.2.5 WindowsNT3.51での設定方法 65
4.3 ET-PS1プリントサーバの設定（TCP/IPの場合） 70
4.3.1 TCP/IPﾌﾟﾛﾄｺﾙを使用可能にする 70
4.3.2 管理者のTCP/IPﾌﾟﾘﾝﾀ･ﾎﾟｰﾄﾓﾆﾀのインストール 70
4.3.3 管理者以外のTCP/IPﾌﾟﾘﾝﾀ･ﾎﾟｰﾄﾓﾆﾀのインストール 74
4.3.4 Windows95での設定方法 74
4.3.5 WindowsNT4.0での設定方法 80
4.3.6 WindowsNT3.51での設定方法 87
4.4 WindowsNTからのLPR印刷設定 92
4.4.1 WindowsNT4.0でのLPR印刷 92
4.4.2 WinodwsNT3.51でのLPR印刷 97

第5章 NetWare環境での設定 ……101

5.1 概要 101
5.1.1 IOADMINによるET-PS1とNetWareの設定方法 103
5.2 DOSユーティリティによるET-PS1の設定方法 104
5.2.1 NDSﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ(NetWare4.xJ)の設定方法 106
5.2.2 ﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀ(NetWare4.xJ)の設定方法 110
5.2.3 ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ(NetWare3.xJ)の設定方法 117
5.2.4 ﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀ(NetWare3.xJ)の設定方法 123
5.3 NetWare関連情報 128
5.3.1 印刷 128
5.3.2 ET-PS1の管理 129
5.3.3 論理ポートとNetWare 132
5.3.4 設定情報の入手 135
5.3.5 設定項目の詳細 140

付録1 困った時には …… 141

●ハードウェア設置……141
●Windows環境でご使用の場合……142
●NetWare環境でご使用の場合(DOSユーティリティ使用時)…149

付録2 用語解説 …… 159

付録3 ハードウェア仕様 …… 162

PLANTコールセンターへのお問い合わせ……163
サポートソフトのバージョンアップ……164
修理について……165

第1章 ご使用になる前に

この章では、ET-PS1を使用する上で必要な事項を説明しますので、必ず最初にお読みください。

1.1 特徴

● ピアツーピア印刷により、従来のクライアント･サーバ印刷に比べデータトラフィックは約1/2でネットワークも快適。

● ピアツーピア 印刷の弱点も標準添付のNetBEUI、TCP/IP対応「プリンタ･ポートモニタ」が解消。

従来のピアツーピア印刷の問題点とされていた、プリンタビジー時の自動再印刷機能に対応しています。(間隔は40～110秒の任意で設定可能) 別ノードへの印刷(TCP/IP使用時のみ)もできます。また「プリンタ･ポートモニタ」は、使用ユーザ数の制限がないため複数台で利用することができ、ユーザー数にあわせ別途LPRソフトを追加購入する必要がありません。

● インストールが簡単。(Windows環境の場合)

ET-PS1にはディップスイッチなどは付いておらず、すべて専用のユーティリティから設定できるので非常に簡単です。プリンタへの設定もWindows95やWindowsNTのプリンタフォルダを開けてポートの設定をするだけです。NetBEUIに対応しており、煩わしいTCP/IPの設定知識も不要です。従来のプリントサーバと比較して、約1/3の時間でインストールが完了します。(【はじめに】(Pi) 参照)

● SOHOにベストマッチ。

手のひらサイズの非常に小さい筐体なので、プリンタに直結※でき、プリンタケーブルも不要です。(※ プリンタの筐体によっては直結できない場合もありますが、その場合は付属のプリンタケーブルを使用して接続してください。)

● NDS対応 (NetWare4.xJ利用時)

バインダリ接続だけでなく、NDSに対応しています。

1.2 箱を開けたら

・同梱構成品

●ET-PS1

No.	内容物	個数	備考
1	プリントサーバ	1個	ET-PS1
2	ACアダプタ	1個	
3	プリンタケーブル (30cm)	1本	
4	固定用マジックテープ	1枚	
5	ET-PS1 プリンタ･ポートモニタ ソフトウェアディスク	1枚	3.5インチ2HD(1.44MB)
6	ET-PS1 設定ツール ソフトウェアディスク	1枚	3.5インチ2HD(1.44MB)
7	取扱説明書	1冊	本書
8	ハードウェア保証書	1枚	
9	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
10	Verシール	1枚	
11	ハードウェアシリアルNO.シール	1枚	
12	『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

万が一、不足品がございましたら弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。

お願い：箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

・ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードは、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

《ハガキによる登録》

1)添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。

2)ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

注 意

1)弊社では、PLANTコールセンターでの質問受け付けやソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。
2)ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ(ユーザー登録カードの場合は、必要なシールの貼り忘れなど)があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

1.3 動作環境

■対応ネットワークOS

・日本語Windows95,日本語WindowsNT4.0,日本語WindowsNT3.51,
NetWare4.xJ,NetWare3.xJ

■対応プロトコル

・NetBEUI,TCP/IP,IPX/SPX

1.4 取り扱い及び使用上の注意

・ 本製品は非常に精密にできておりますので、以下の注意事項を守ってお使いください。
- ● 高温、多湿、低温の場所に放置しないでください。
- ● コネクタ部分に金属を差し込まないでください。
- ● 無理な加重をかけないでください。
- ● 濡らさないでください。
- ● 落とさないでください。
- ● 分解や改造などをしないでください。
- ● 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、重いものを上に載せないでください。

・ 本製品の内部の点検･調整･修理は弊社PLANTコールセンターにご依頼ください。

・ 保証について

◎保証期間

･保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

･弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

･本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

･本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

･弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

･本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。また、本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。

1.5 実行用ディスクの作り方

本製品に添付されているサポートソフトウェアディスクは必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
ここでは、フロッピィディスクドライブがAドライブの場合の例を示します。

1 **1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピィディスク(3.5インチ2HD)を用意します。**

2 **サポートソフトウェアディスクを書き込み禁止にします。**

3 **Windows95,WindowsNT4.0の場合は、『ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の「3.5ｲﾝﾁ FD(A:)」を右クリックし『ﾃﾞｨｽｸのｺﾋﾟｰ』を選択します。**

Windows95の例)

MS-DOS (PC DOS)、WindowsNT3.51の場合は、MS-DOSのコマンド入力状態でDISKCOPY コマンドを実行します。

MS-DOSの例)

```
C:\>diskcopy a: a:・
```

(下線部入力)

4 **サポートソフトウェアディスクと空きフロッピィディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。**

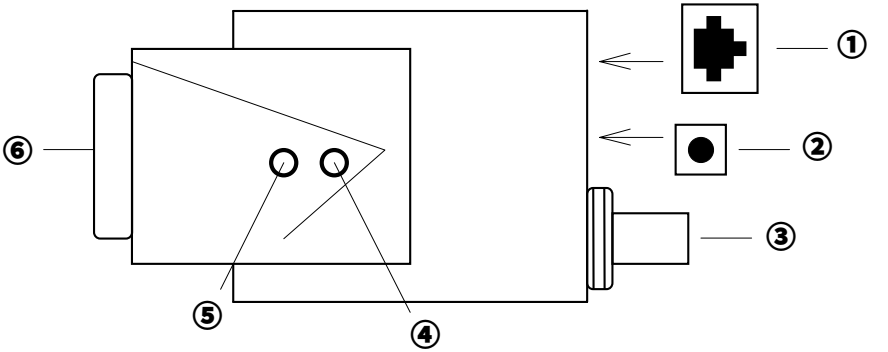
注 意

サポートソフトウェアディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートソフトウェアディスクは大切に保管してください。

第2章 ET-PS1の取り付け方法

この章ではローカルネットワークにET-PS1を取り付ける方法を説明します。

2.1 各部の名称・機能



名称	機能
①RJ-45(UTP)コネクタ	10BASE-T用非シールドツイストペアケーブルを接続します。
②9V電源ポート	専用ACアダプタを接続します。
③10BASE2(BNC)コネクタ	10BASE2用同軸ケーブルを接続します。
④エラーLED(赤)※	次ページ参照
⑤リンクLED(緑)※	次ページ参照
⑥パラレルポート1	プリンタポートに接続します。物理的に接続不可能な場合は、添付のプリンタケーブルを使用してください。

※「④エラーLED（赤）」、「⑤リンクLED（緑）」の意味について

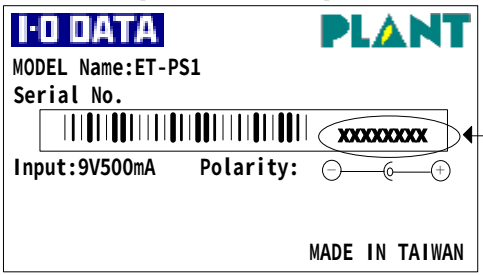
エラーLED(赤)	リンクLED(緑)	状態説明
消灯	点灯	正常動作
消灯	点滅	プリントサーバとネットワークの間でパケットを送受信中
消灯	消灯	プリントサーバに電源が供給されていない （対処：ACアダプタを取り付けてください。）
点灯	点灯	ハードウェア異常 （対処：管理ユーティリティIOADMINの [設定]→[ﾃﾞﾊﾞｲｽのﾘｾｯﾄ]コマンドを 実行してみてください。）

2.2 取り付け方法

ET-PS1をネットワークに接続する方法を説明します。

1 ET-PS1のシリアル番号をメモしてください。シリアル番号は、ET-PS1本体の底部に印刷されています。ET-PS1本体の設定または各OSへ設定する際に、このシリアル番号が必要になります。

[ET-PS1本体底部]



2 非シールドツイストペアケーブルをRJ-45コネクタ（P7の図の①）に接続するか、または、10BASE2用同軸ケーブルを10BASE2(BNC)コネクタ（P7の図の③）に接続します。

特に注意

非シールドツイストペアケーブルと10BASE2用同軸ケーブルを同時に接続しないでください。故障の原因になります。

3 ET-PS1のパラレルポート1（P7の図の⑥）をプリンタのプリンタポートに接続します。物理的に接続できない場合は、付属のプリンタケーブルをご利用ください。

参 考

プリンタケーブルを使用した場合、固定用マジックテープを使用すれば、ET-PS1本体をプリンタの側面などに固定できます。

4 **電源ケーブルをET-PS1本体へ接続してから、ACコンセントに接続します。（P7の図の②）**

特に注意

必ず、ET-PS1をプリンタポートに接続してから、ET-PS1に電源ケーブルを接続してください。（絶対にET-PS1の電源を入れた状態で、プリンタに接続しないでください。）

第3章 管理ユーティリティ

この章では、ET-PS1の管理を行うための管理ユーティリティ「**IOADMIN**」のインストール方法、機能・コマンドを説明します。（ネットワーク管理者のみお読みください。）

参考

Windows環境（NetBEUIプロトコル）の場合は、出荷時設定の状態ですぐにご使用になれますので、この章を読み飛ばして［第4章 Windows環境での設定］へ進まれてもかまいません。その際は、ET-PS1のシリアル番号（P9参照）が「ﾃﾞﾊﾞｲｽ名」になっています。

3.1 IOADMINとは

管理ユーティリティIOADMINは、稼働中のすべてのET-PS1と個々に通信を行い、メイン画面にそのリストを表示します。このリストには、すべてのET-PS1のシリアル番号、デバイス名、ネットワーク番号、プリンタポート設定が表示されます。ET-PS1管理者はこのリストを使用して、ET-PS1のファームウェアに格納された設定情報の変更等の操作ができます。IOADMINを使用すると、NetWare、NetBEUI、TCP/IPの各環境に合わせて、ET-PS1を設定できます。IOADMINでは、ネットワーク上のET-PS1との通信を開始するのに、IPX/SPXプロトコルを使用します。

注意

IOADMINはリストに表示されるすべてのET-PS1の設定の変更等ができるため、不用意に他のユーザがIOADMINを使用して変更しないよう注意してください。（ネットワーク管理者以外はインストールしないでください。）

3.2 IOADMINのインストール

IOADMINユーティリティは、添付の「ET-PS1設定ツール」ディスクに入っています。インストールの前に必ず「ET-PS1設定ツール」ディスク内のREADMEファイルをご覧ください。

IOADMINをインストールする前に

IOADMINをインストールする前に以下の項目を確認してください。

■Windows95の場合

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』から『ﾈｯﾄﾜｰｸ』をダブルクリックし、「ﾈｯﾄﾜｰｸの設定」を参照してください。
以下のプロトコル及びサービスがインストールされていることを確認してください。

①IPX/SPX互換ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
②NetWareﾈｯﾄﾜｰｸｸﾗｲｱﾝﾄ（または、Novell IntranetWare Client※）

※ NetWare4.xJ（NDS）環境で使用するには、「NetWare Client 32 for Windows95」 または 「IntranetWare Client for Windows95」が必要です。

インストールされていない場合は、[追加]ボタンをクリックし、これらをインストールしてください。
（インストール方法はWindows95の取扱説明書を参照してください。）

■WindowsNT4.0の場合

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』から『ﾈｯﾄﾜｰｸ』をダブルクリックし、「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を参照してください。以下のプロトコル及びサービスがインストールされていることを確認してください。

①NWLink IPX/SPX互換トランスポート
②Client Service for NetWare
（または、Novell IntranetWare Client for WindowsNT※）

※ NetWare4.xJ（NDS）環境で使用するには、「IntranetWare/NetWare Client for WindowsNT」が必要です。

インストールされていない場合は、[プロトコル][サービス]の各タブで[追加]ボタンをクリックし、これらをインストールしてください。
（インストール方法はWindowsNT4.0の取扱説明書を参照してください。）

■WindowsNT3.51の場合

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』から『ﾈｯﾄﾜｰｸ』をダブルクリックし、「ﾈｯﾄﾜｰｸの設定」を参照してください。
以下のプロトコル及びサービスがインストールされていることを確認してください。

①NWLink IPX/SPX互換トランスポート

②NetWareクライアントサービス
（または、Novell IntranetWare Client for WindowsNT※）

※ NetWare4.xJ（NDS）環境で使用するには、「IntranetWare/NetWare Client for WindowsNT」が必要です。

インストールされていない場合は、[ソフトウェアの追加]ボタンをクリックし、これらをインストールしてください。

（インストール方法はWindowsNT3.51の取扱説明書を参照してください。）

参 考

IOADMINの使用にあたって、ネットワーク全体でIPX/SPXがサポートされている必要はありません。
IOADMINを使用しないパソコンではIPX/SPXプロトコルは必要ありません。

Windows上でのIPX/SPXプロトコルの確認及びインストール

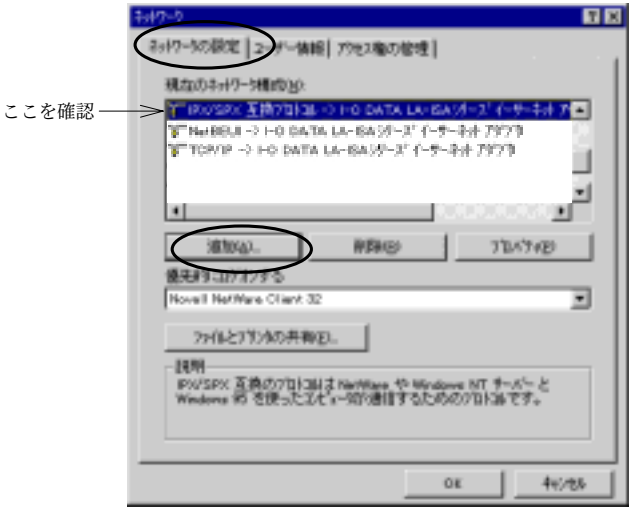
（画面はWindows95の場合）

1 **Windowsを起動します。**

2 **『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾈｯﾄﾜｰｸ』を選択します。**

3 **[ﾈｯﾄﾜｰｸの設定] タブの[現在のネットワーク構成]に「IPX/SPX互換プロトコル」があ**

り、お使いのイーサネットアダプタ名になっているか確認してください。この項目がない場合は、[追加] ボタンをクリックしてください。プロトコルの追加を行います。



4 [ﾌﾟﾛﾄｺﾙ]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

参考

「NetWareﾈｯﾄﾜｰｸｸﾗｲｱﾝﾄ」をインストールする場合は、ここで[ｸﾗｲｱﾝﾄ]を選択してください。

5 「製造元」リストから[Microsoft]を選択し、「ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙ」リストから[IPX/SPX互換ﾌﾟﾛﾄｺﾙ]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

参考

「NetWareﾈｯﾄﾜｰｸｸﾗｲｱﾝﾄ」をインストールする場合は、「製造元」リストから[Microsoft]を選択してください。

■IOADMINのインストール

1 Windowsを起動します。

2 『ｽﾀｰﾄ』メニュー→『ﾌｧｲﾙ名を指定して実行』を選択します。
WindowsNT3.51の場合は、『プログラムマネージャ』→『アイコン』→
『ファイル名を指定して実行』を選択します。

3 「ET-PS1設定ツール」ディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。

4 キーボードから次のように入力します。
A:\SETUP・（下線部入力）
（フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）

5 画面の指示に従って、ET-PS1設定ツールをインストールします。

インストールが完了すると、「ET-PS1 ADMIN」プログラムグループが生成されます。このグループには「IOADMIN」、「README」、「ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ」があります。

3.3 IOADMINによるET-PS1の設定

ET-PS1プリントサーバに接続されたプリンタを使用するWindows パソコンは、プロトコルソフトウェアをインストール済みで、ET-PS1プリントサーバと通信可能である必要があります。

IOADMINを実行するパソコンには、IPX/SPXプロトコルをインストール済みで、IPX/SPXプロトコルがアクティブになっている必要があります。また、

Windows95の場合 ……「NetWareﾈｯﾄﾜｰｸｸﾗｲｱﾝﾄ」

WindowsNT4.0の場合 …「Client Service for NetWare」

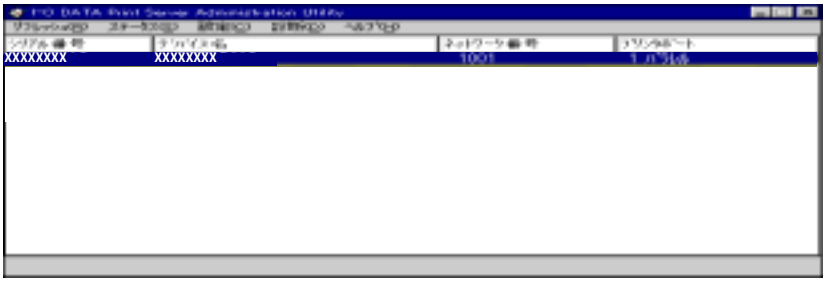
WindowsNT3.51の場合…「NetWareクライアントサービス」

がそれぞれインストール済みの必要があります。確認方法などは、

【3.2 IOADMINのインストール】（P12）を参照してください。

3.3.1 IOADMINの基本操作

「ET-PS1 ADMIN」プログラムグループからIOADMINを選択すると、次のような画面が表示されます。



IOADMINのメインウィンドウには、メニューバーと登録されているET-PS1のリストで構成されています。
IOADMINを起動すると、IOADMINからネットワークに対して稼働中のET-PS1についての照会が行われます。IOADMINはメインのリストに、稼働中のET-PS1のシリアル番号、デバイス名、ネットワーク番号を表示します。

シリアル番号	製造時にそのET-PS1に割り当てられた英数字です。シリアル番号は、ET-PS1本体底部に貼られたラベルに印刷されています。（確認方法はP9を参照）
デバイス名	ネットワーク上でET-PS1の識別に使用する名前です。この名前は、デフォルトではシリアル番号を使用します。デバイス名を変更するには、そのET-PS1の動作設定時に指定するか、メニューの［設定］から［システム］を選択します。
ネットワーク番号	これはNetWareが規定する番号で、NetWare管理者はこのネットワーク番号を用いて、NetWareネットワークに接続されているET-PS1の相対的な物理的配置を識別できます。ネットワーク上にNetWareファイルサーバがない場合、このフィールドの表示は「0」になります。
プリンタポート	接続されているET-PS1に備えられているプリンタポートの個数と種類が表示されます。ET-PS1では「1ﾊﾟﾗﾚﾙ」です。

■ [ﾘﾌﾚｯｼｭ] コマンド

IOADMINに表示されるET-PS1のリストを更新します。リストは最新の保存済み情報に更新されます。

■ [ｽﾃｰﾀｽ] メニュー

このメニューから [ﾃﾞﾊﾞｲｽ情報] を選択すると、ET-PS1のメモリに格納されている設定情報が表示されます。同じく [ﾃﾞﾊﾞｲｽ情報] を選択すると、プリンタポートの現在の設定状況に関する情報が表示されます。

[ﾃﾞﾊﾞｲｽ情報]	選択したET-PS1に関する一般情報と設定情報が表示されます。表示される情報は、ET-PS1本体のファームウェアのバージョン、Ethernetアドレス、IPアドレス、NetWareプリントサーバの状態、リモートプリンタの状態等です。（メイン画面のリスト中の項目をダブルクリックした場合も「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ」が表示されます。）	
[ﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄｽﾃｰﾀｽ]	現在のプリンタとプリンタポートの状態が表示されます。	

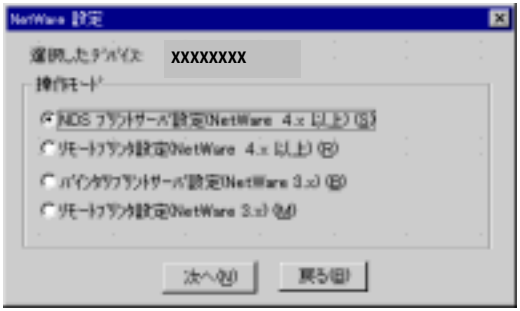
■ [設定] メニュー

このメニューを使用すると、選択したET-PS1の設定の表示と変更ができます。このメニュー内の各コマンドを使用することで、各環境（NetWare、TCP/IP）用のプリントサーバ設定、パラレルポートの設定、デバイス名の変更、使用しないプロトコルの設定解除等の操作を行えます。

[ｼｽﾃﾑ] コマンド	選択したET-PS1をネットワーク上で指定するのに使用する名前を変更します。また、使用するプロトコルの有効／無効の設定についても、このコマンドで行います。

注 意

ネットワーク上で使用しないプロトコルは、「無効」に設定しておくことをお勧めします。（ただしIPX/SPXプロトコルは、IOADMINで使用するため、無効にできません。）

[NetWare] コマンド	選択したET-PS1のNetWare環境用の設定をします。 

[TCP/IP] コマンド	選択したET-PS1にIPアドレスとサブネットマスクを設定します。また、ET-PS1がローカルセグメントの範囲を超えて接続を行う

	際に使用するルータのIPアドレス（ゲートウェイアドレス）を設定します。
[論理ﾎﾟｰﾄ] コマンド	選択したET-PS1の論理ポート**エラー! ブックマークが定義されていません。**を設定します。ET-PS1は、最大3個までの論理ポートを持つことができます。 （設定の詳細は、[3.3 IOADMINによるET-PS1の設定] 内の「論理ポートの設定」（P44）を参照してください。）

注 意

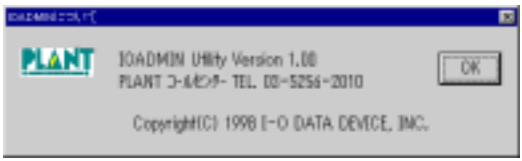
通常、ET-PS1をWindows環境で使用する場合は、論理ポートの設定は必要ありません。

[ﾃﾞﾊﾞｲｽのﾘｾｯﾄ] コマンド	選択したET-PS1をリセットします。 ハードウェアの異常時にお試しください。
[工場出荷時設定に戻す] コマンド	選択したET-PS1を製品出荷時の設定に戻します。

■ [診断] メニュー

このメニューを使用すると、テストページの印刷やリセットができます。
[印字ﾃｽﾄ] では、選択したET-PS1のデバイス情報をプリンタポートに出力し、そのページを印刷します。

■[ﾍﾙﾌﾟ]メニュー

[ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報]	IOADMINのバージョン情報を表示します。 

3.3.2 NetBEUI用設定(Windows環境)

プリントサーバ管理ユーティリティIOADMINの［ﾃﾞﾊﾞｲｽ名］に一覧表示されているデバイス名は、選択されているET-PS1をネットワーク上で識別するために使用される名前です。デフォルトの名前は、本体のシリアル番号です。次の手順で、ET-PS1の名前を変更します。

1 ［設定］メニューの［ｼｽﾃﾑ］を選択します。

2 ［ﾃﾞﾊﾞｲｽ名］テキストボックスにネットワーク上のプリントサーバを識別するために使用する名前を入力します。（例:PS1_EIGYO_01）

注 意

1)デバイス名には、**15字以内の英数半角文字**を指定してください。
2)TCP/IPプロトコルでET-PS1を使用しない場合は、「無効」に設定しておくことをお勧めします。

3 ［保存する］を選択して、変更を保存します。

以上で設定は終了です。

3.3.3 TCP/IP用設定（Windows環境）

IOADMINを使用して設定するには、次の手順で行います。

1 IOADMINを起動します。

2 IPアドレスを設定するET-PS1プリントサーバを選択します。

3 [設定] メニューの [ｼｽﾃﾑ] を選択します。

4 [ﾃﾞﾊﾞｲｽ名] テキストボックスにネットワーク上のプリントサーバを識別するために使用する名前を入力します。(例:PS1_EIGYO_01)

注 意

1)デバイス名には、**19字以内の英数半角文字**を指定してください。
2)NetBEUIプロトコルでET-PS1を使用しない場合は、「無効」に設定しておくことをお勧めします。

5 [保存する] を選択して、変更を保存します。

6 [設定] メニューの [TCP/IP] を選択します。[TCPIP 設定] ダイアログボックスが表示

されます。

7 [IP ｱﾄﾞﾚｽ] にET-PS1サーバに割り当てるIPアドレスを入力します。

8 [ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ] にET-PS1がネットワークとの通信に使用するゲートウェイまたはルータのIPアドレスを入力します。

9 [ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ] に必要に応じてサブネットマスクアドレスを入力します。

10 [ﾃﾞﾊﾞｲｽに保存] ボタンをクリックします。ET-PS1本体にIPアドレスが書き込まれます。

以上で設定は終了です。

3.3.4 IPX/SPX用設定(NetWare環境)

ここでは、IOADMINを使用してET-PS1をNetWare用に設定する方法について説明します。ET-PS1とNetWare環境の両方について、管理用ユーティリティIOADMINで設定します。IOADMINの［NetWare］オプションでは、一連のダイアログボックスの指示に従って設定作業を行います。NetWareが必要とするオブジェクトの作成と命名作業をIOADMINに任せる簡易設定（クイックセットアップ）や、個々の項目のユーザの指定（カスタムセットアップ）があります。

■デバイス名の変更

プリントサーバ管理ユーティリティIOADMINの［ﾃﾞﾊﾞｲｽ名］に一覧表示されているデバイス名は、選択されているET-PS1をネットワーク上で識別するために使用される名前です。デフォルトの名前は、本体のシリアル番号です。次の手順で、ET-PS1の名前を変更します。

1 ［設定］メニューの［ｼｽﾃﾑ］を選択します。

2 ［ﾃﾞﾊﾞｲｽ名］テキストボックスにネットワーク上のプリントサーバを識別するために使用する名前を入力します。（例:PS1_EIGYO_01）

注 意

1)デバイス名には、**19字以内の英数半角文字**を指定してください。
2)ET-PS1で使用しないプロトコルは、「無効」に設定しておくことをお勧めします。

3 ［保存する］を選択して、変更を保存します。

ここからは、ご使用のクライアントがNDSとNetWareバインダリのどちらで使用しているか、

また、プリントサーバとリモートプリンタのどちらのモードで使用するのか確認した上で、ご使用の環境に合わせて、必要な箇所をお読みください。

ET-PS1をNetWareに登録するためには、アドミニストレータ権限が必要になります。

・NDSプリントサーバ（NetWare4.xJ）の場合

- **NDSﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ（NetWare4.xJ）の設定方法（次ページ）参照**

・バインダリプリントサーバ（NetWare3.xJ）の場合

- **ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ（NetWare3.xJ）の設定方法（P34）参照**

・NDSリモートプリンタ（NetWare4.xJ）の場合

- **ﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀ（NetWare4.xJ）の設定方法（P40）参照**

・バインダリリモートプリンタ（NetWare3.xJ）の場合

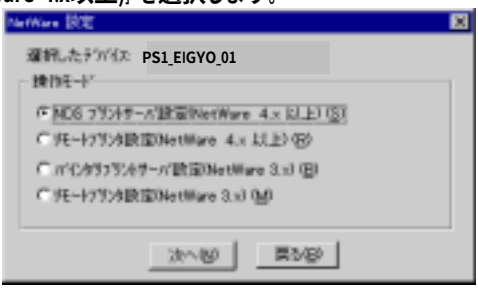
- **ﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀ（NetWare3.xJ）の設定方法（P42）参照**

• NDSﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ (NetWare4.xJ) の設定方法

1 『ET-PS1 ADMIN』プログラムグループから、『IOADMIN』を選択します。

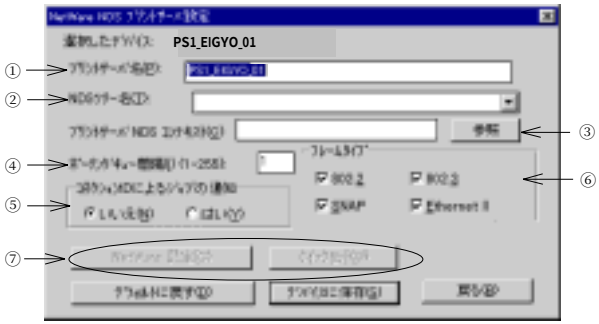
2 メニューから[設定]の[NetWare]を選択します。

3 [NetWare設定] ダイアログボックスで、ET-PS1の動作モード設定について、[NDSﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定(NetWare 4.x以上)] を選択します。



4 [次へ] を選択します。NetWare環境にログインしていない場合は、ここで [Login] ダイアログボックスが表示されます。ET-PS1を接続する対象となるNDSツリーとコンテキストにログインします。

5 [NetWare NDS ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定]ダイアログボックスが表示されます。

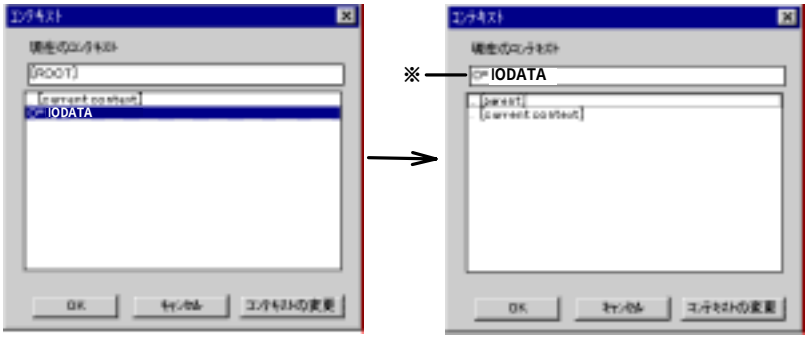


参考

①のプリントサーバ名には、初期設定ではET-PS1のシリアル番号が使用されます。この名前は、ネットワーク上でET-PS1の識別に使用されるものです。変更は、[ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名] テキストボックスを使用します。

② [NDSﾂﾘｰ名] テキストボックスの右にある矢印をクリックして、ET-PS1で使用するNDSツリーをリストから選択します。

③ [ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞNDSｺﾝﾃｷｽﾄ] テキストボックスの右側の [参照] ボタンをクリックし、ET-PS1で使用したいNDSコンテキストを選択します。このとき、選択したいNDSコンテキストをダブルクリックし、下図の※に表示されてから[OK]ボタンをクリックしてください。



④ [ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｷｭｰ間隔] テキストボックスに、ET-PS1が新規のジョブを入手するためにプリントキューに対して行うポーリングの間隔を秒単位で入力します。

⑤ジョブ通知機能を使用すると、プリントジョブ終了後にそのジョブを要求したユーザに対してET-PS1から確認通知が送信されます。この機能を使用する場合は、[ｺﾈｸｼｮﾝIDによるｼﾞｮﾌﾞの通知] の欄で [はい] を選択します。使用しない場合は [いいえ] を選択します。

⑥ [ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ] では、フレームタイプ (ET-PS1がネットワーク上の他のデバイスとの通信に使用するプロトコル) を選択します。(複数選択可)

注 意

フレームタイプを選択する時は、このET-PS1の設定作業に使用しているワークステーションが選択したフレームタイプを使用していることを確認してください。このフレームタイプに食い違いがあると、設定を保存した後で、そのワークステーションとET-PS1との通信ができなくなってしまいます。

⑦ET-PS1用にNetWareプリントサーバとNetWareプリントキューの各種設定を行うために、[ｸｲｯｸｾｯﾄ] ボタンか [NetWare設定] ボタンを選択します。
(「NDSﾂﾘｰ名」,「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞNDSｺﾝﾃｷｽﾄ」を指定すると選択できるようになりま

す。）

［ｸｲｯｸｾｯﾄ］……設定作業が簡単で、自動的にET-PS1の各ポート用にプリントキューが作成されます。（セットアップ方法は下記参照。）

［NetWare設定］…既存のプリントキューを使用したり、新たにプリントキューを作成したりできます。（セットアップ方法はP30参照）

■ クイックセットアップ

1 ［NetWare NDS ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定］ダイアログボックスで、「NDSﾂﾘｰ名」，「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞNDSｺﾝﾃｷｽﾄ」にプリントキューを新たに設定するサーバを指定します。

2 ［ｸｲｯｸｾｯﾄ］を選択すると、［ｸｲｯｸ設定］ダイアログボックスが表示されます。

ET-PS1の各ポートに、プリンタ名とキュー名が自動的に割り当てられます。

3 ［設定］ボタンをクリックすると、［ﾃﾞﾊﾞｲｽに設定を保存する］ダイアログボックスが表示されます。

4 変更内容を保存してよければ、［はい］ボタンをクリックします。

5 ［NetWare設定］ダイアログボックスで、［戻る］ボタンをクリックして、メイン画面に戻ります。

以上で設定は終了です。

参 考

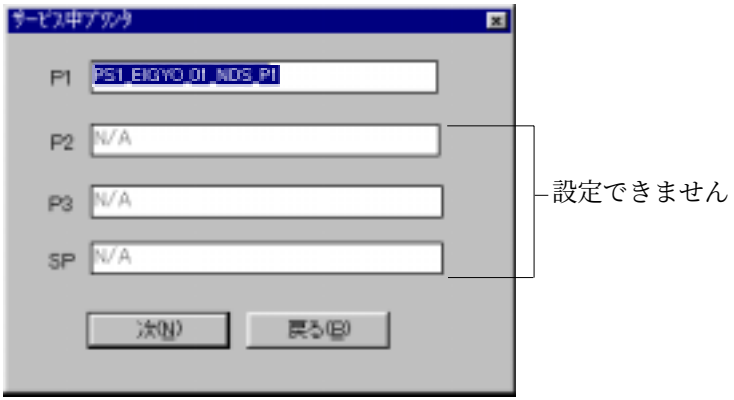
他のNetWareプリントパラメータの設定については、デフォルトの値が使用されます。パラレルポートは「P1」と表示されます。

■ NetWareカスタム設定

1 [NetWare NDS ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスで、「NDSﾂﾘｰ名」、「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞNDSｺﾝﾃｷｽﾄ」にプリントキューを新たに設定するサーバを指定します。

2 [NetWare設定] を選択すると、[ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスが表示されます。

3 **ET-PS1上のプリンタにプリントキューを設定するには、[ﾌﾟﾘﾝﾀ] ボタンをクリックします。[ｻｰﾋﾞｽ中ﾌﾟﾘﾝﾀ] ダイアログボックスが表示されます。実際にプリンタが接続されているET-PS1のプリンタポートについて、名前を入力します。名前の入力を終えたら、[次] ボタンをクリックします。**



4 **[ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰの割当て] ダイアログボックスが表示されます。[ﾘｽﾄを見る] ボタンをクリックします。**

5 **[ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ割当て] ダイアログボックスが表示されます。**

1)①の [参照] ボタンをクリックして、プリントキューを格納するコンテキストを選択します。②の [利用可能なｷｭｰ] リストに選択したコンテキスト内で検出されたプリントキューの一覧が表示されます。そのプリンタポートでサービスするように設定したいプリントキューを選択し、[<<] ボタンを押して、そのキューを [ﾌﾟﾘﾝﾀによってｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ] リストに移動します。(またはダブルクリックします)

2)そのプリンタポートでサービスするように設定したいプリントキューすべてについて、この手順を繰り返します。

3)選択したコンテキスト内に新しいプリントキューを作成したい場合は、
［利用可能なｷｭｰ］リストの下の④［新規ｷｭｰ］ボタンをクリックします。新規のプリントキューの名前と優先度レベルを指定してから、［OK］ボタンをクリックします。
4)プリンタポートにアクセス制御を適用したい場合は、⑤［ﾕｰｻﾞ］ボタンまたは［ｵﾍﾟﾚｰﾀ］ボタンをクリックします。この場合NetWareでアクセス制御が設定されている必要があります。
このダイアログボックスでの作業を終えたら、［OK］ボタンをクリックします。

6 ［戻る］ボタンをクリックします。
［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定］ダイアログボックスに戻ります。

7 ET-PS1にアクセスするためのパスワードを指定するには、［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ］ボタンをクリックします。
そのプリントサーバにアクセス制御を割り当てたい場合は、［ﾕｰｻﾞ］ボタンまたは［ｵﾍﾟﾚｰﾀ］ボタンをクリックします。この場合NetWareでアクセス制御が設定されている必要があります。
これらの作業を終えたら、［戻る］ボタンをクリックします。［NetWare NDS ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定］ダイアログボックスに戻ります。

8 **[ﾃﾞﾊﾞｲｽに保存] ボタンをクリックします。**
これで、ET-PS1とNetWareの両方に、変更した内容を保存します。

9 **本当に変更内容を保存してよければ、[OK] ボタンをクリックします。保存に成功した後、確認のためのダイアログボックスが表示されるので、再度 [OK] ボタンをクリックします。**

10 **[NetWare NDS ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスで、[戻る] ボタンをクリックして、メイン画面に戻ります。**

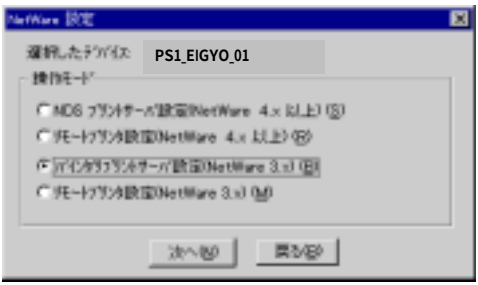
以上で設定は終了です。

• ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ(NetWare3.xJ)の設定方法

1 『ET-PS1 ADMIN』プログラムグループから、『IOADMIN』を選択します。

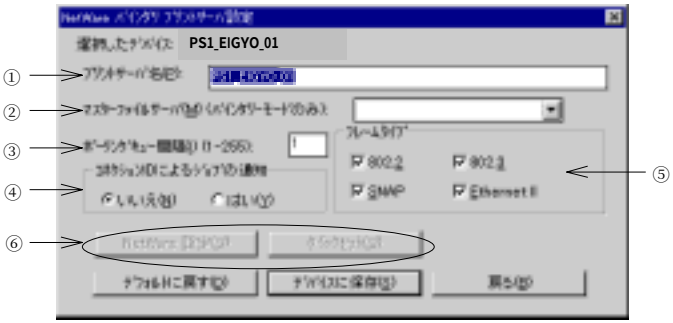
2 メニューから[設定]の[NetWare]を選択します。

3 [NetWare設定] ダイアログボックスで、ET-PS1の動作モード設定について、[ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定(NetWare3.x)] を選択します。



4 [次へ] を選択します。NetWare環境にログインしていない場合は、ここで [Login] ダイアログボックスが表示されます。ET-PS1を接続する対象となるバインダリにログインします。

5 [NetWare ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスが表示されます。



参考

①のプリントサーバ名には初期設定ではET-PS1のシリアル番号が使用されます。この名前は、ネットワーク上でプリントサーバの識別に使用されるものです。変更は、[ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞｰ名] テキストボックスを使用します。

② [ﾏｽﾀｰﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞｰ] テキストボックスの右にある矢印をクリックして、ET-PS1でマスタファイルサーバとして使用したいサーバをリストから選択します。

③ [ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｷｭｰ間隔] テキストボックスに、ET-PS1が新規のジョブを入手するためにプリントキューに対して行うポーリングの間隔を秒単位で入力します。

④ジョブ通知機能を使用すると、プリントジョブ終了後にそのジョブを要求したユーザに対してET-PS1から確認通知が送信されます。この機能を使用する場合は、[ｺﾈｸｼｮﾝIDによるｼﾞｮﾌﾞの通知] の欄で [Yes] を選択します。使用しない場合は [No] を選択します。

⑤ [ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ] では、フレームタイプ (ET-PS1がネットワーク上の他のデバイスとの通信に使用するプロトコル) を選択します (複数選択可)。

注意

フレームタイプを選択する時は、このET-PS1の設定作業に使用しているワークステーションが選択したフレームタイプを使用していることを確認してください。このフレームタイプに食い違いがあると、設定を保存した後で、そのワークステーションとET-PS1との通信ができなくなってしまいます。

⑥ET-PS1用にNetWareプリントサーバとNetWareプリントキューの各種設定を行うために、[ｸｲｯｸｾｯﾄ] ボタンか [NetWare設定] ボタンを選択します。
(「ﾏｽﾀﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ」を指定すると選択できるようになります。)
[ｸｲｯｸｾｯﾄ] ……設定作業が簡単で、自動的にET-PS1の各ポート用にプリントキューが作成されます。(セットアップ方法は次ページ参照。)
[NetWare設定] …既存のプリントキューを使用したり、新たにプリントキューを作成したりできます。(セットアップ方法はP37参照)

■クイックセットアップ

1 **[NetWare ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスで、「ﾏｽﾀﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ」にプリントキューを新たに設定するサーバを指定します。**

2 **[ｸｲｯｸｾｯﾄ] を選択すると、[ｻｰﾋﾞｽ中ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ]ダイアログボックスが表示されますのでサーバを選択し、[次]ボタンをクリックすると、[ｸｲｯｸ設定] ダイアログボックスが表示されます。**

ET-PS1の各ポートに、プリンタ名とキュー名が自動的に割り当てられます。キュー名は変更可能です。

3 **[設定] ボタンをクリックすると、[ﾃﾞﾊﾞｲｽに設定を保存する] ダイアログボックスが表示されます。**

4 **変更内容を保存してよければ、[はい] ボタンをクリックします。**

5 **[NetWare設定] ダイアログボックスで、[戻る] ボタンをクリックして、メイン画面に戻ります。**

以上で設定は終了です。

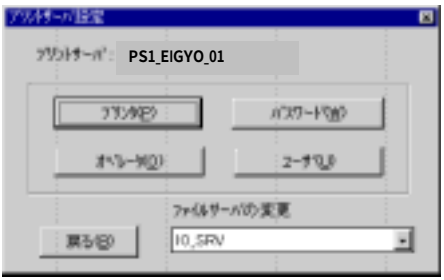
参考

他のNetWareプリントパラメータの設定については、デフォルトの値が使用されます。パラレルポートは「P1」と表示されます。

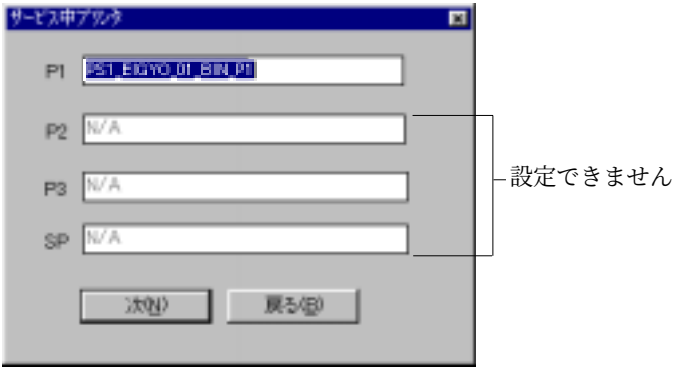
■ NetWareカスタム設定

1 [NetWare ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスで、「ﾏｽﾀﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ」にプリントキューを新たに設定するサーバを指定します。

2 [NetWare設定] を選択すると、[ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスが表示されます。

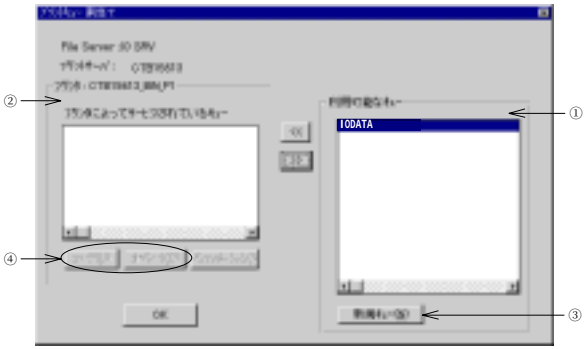


3 [ﾌﾟﾘﾝﾀ] ボタンをクリックします。[ｻｰﾋﾞｽ中ﾌﾟﾘﾝﾀ] ダイアログボックスが表示されます。実際にプリンタが接続されているET-PS1のプリンタポートについて、名前を入力します。名前の入力を終えたら、[次] ボタンをクリックします。



4 [リストを見る] ボタンをクリックします。[ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰの割当て] ダイアログボックスが表示されます。

5 [ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ割当て] ダイアログボックスが表示されます。



1)① [利用可能なｷｭｰ] リストに既存のプリントキューが表示されます。このプリンタポートでサービスするように設定したいプリントキューをダブルクリックし、そのキューを② [ﾌﾟﾘﾝﾀによってｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ] リストに移動します。

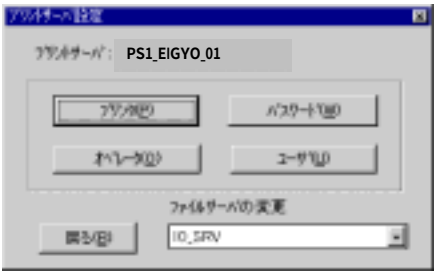
2)新しいプリントキューを作成したい場合は、① [利用可能なｷｭｰ] リストの下の③ [新規ｷｭｰ] ボタンをクリックし、新規のプリントキューの名前と優先度レベルを指定してから、[OK] ボタンをクリックします。

3)プリンタポートにアクセス制御を適用したい場合は、④ [ﾕｰｻﾞ] ボタンまたは [ｵﾍﾟﾚｰﾀ] ボタンをクリックします。この場合NetWareでアクセス制御が設定されている必要があります。

そのプリンタポートについてキューの設定を終えたら、[OK] ボタンをクリックして [ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ割当て] ダイアログボックスに戻ります。次のプリンタポートを選択して、設定作業を繰り返します。

6 [ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスに戻るまで、[戻る] ボタンを繰り返し押します。

7 **そのプリンタポートアクセスするためのパスワードを指定するには、[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ] ボタンをクリックします。**
そのプリンタポートにアクセス制御を割り当てたい場合は、[ﾕｰｻﾞ] ボタンまたは [ｵﾍﾟﾚｰﾀ] ボタンをクリックします。この場合NetWareでアクセス制御が設定されている必要があります。



これらの作業を終えたら、[ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスで [戻る] ボタンをクリックします。[NetWareﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスに戻ります。

8 **[ﾃﾞﾊﾞｲｽに保存] ボタンを押します。**
これで、ET-PS1とNetWareの両方に、設定した内容を保存します。

9 **変更内容を保存してよければ、[OK] ボタンをクリックします。保存に成功した後、確認のためのダイアログボックスが表示されるので、再度 [OK] ボタンをクリックします。**

10 **[NetWareﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ設定] ダイアログボックスで、[戻る] ボタンをクリックして、メイン画面に戻ります。**

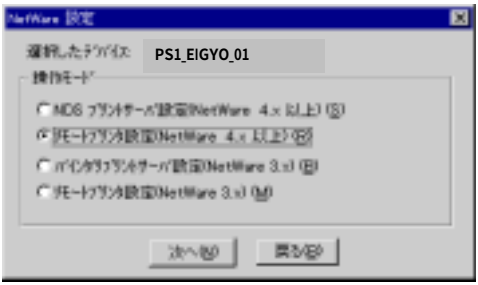
以上で設定は終了です。

• ﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀ(NetWare4.xJ)の設定方法

1 『ET-PS1 ADMIN』プログラムグループから、『IOADMIN』を選択します。

2 メニューから[設定]の[NetWare]を選択します。

3 [NetWare設定] ダイアログボックスで、ET-PS1の動作モード設定について、[ﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀ設定(NetWare 4.x以上)] を選択します。



4 [次へ] を選択します。NetWare環境にログインしていない場合は、ここで [Login] ダイアログボックスが表示されます。そのリモートプリントサーバが存在する場所のNDSツリーとコンテキストにログインします。

5 [NetWareﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀ設定] ダイアログボックスが表示されます。

参 考

①のデバイス名の初期値は、そのET-PS1のシリアル番号が使用されます。この名前は、ネットワーク上でET-PS1の識別に使用されるものです。変更は、[ﾃﾞﾊﾞｲｽ名] テキストボックスを使用します。

1)② [ﾂﾘｰ名] テキストボックスの右にある矢印をクリックして、ET-PS1のポートで使用するツリーをリストから選択します。

2)③ [ｺﾝﾃｷｽﾄ] テキストボックスの右側の [参照] ボタンをクリックして、ET-PS1で使用したいNDSコンテキストを選択します。
ET-PS1のプリンタポートが、ソフトウェアによって自動的に検出されます。パラレルポートは「P1」と表示されます。プリンタを接続するポートを選択します。矢印ボタンをクリックし、ET-PS1に接続したプリンタのサービス対象にするNovellリモートプリントサーバをリストから選択します。

3)④ [ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ] では、フレームタイプ (ET-PS1がネットワーク上の他のデバイスとの通信に使用するプロトコル) を選択します。(複数選択可)

4)⑤ [ﾃﾞﾊﾞｲｽ保存] ボタンをクリックします。

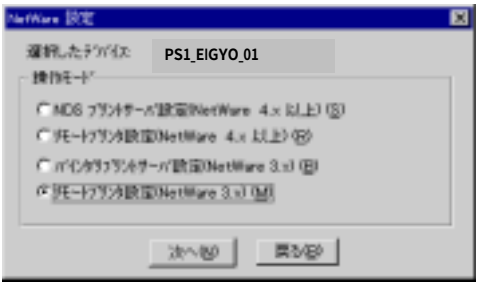
以上で設定は終了です。

・ リモートプリンタ(NetWare3.xJ)の設定方法

1 『ET-PS1 ADMIN』プログラムグループから、『IOADMIN』を選択します。

2 メニューから[設定]の[NetWare]を選択します。

3 [NetWare設定] ダイアログボックスで、ET-PS1の動作モード設定について、[リモートプリンタ設定(NetWare3.x)] を選択します。



4 [次へ] を選択します。NetWare環境にログインしていない場合は、ここで [Login] ダイアログボックスが表示されます。そのリモートプリントサーバが存在する場所のバインダリにログインします。

5 [NetWareリモートプリンタ設定] ダイアログボックスが表示されます。

参 考

①のデバイス名の初期値は、そのET-PS1のシリアル番号が使用されます。この名前は、ネットワーク上でET-PS1の識別に使用されるものです。変更は、[ﾃﾞﾊﾞｲｽ名] テキストボックスを使用します。

1)② [ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞｰ] テキストボックスの右にある矢印をクリックして、ET-PS1へのプリント出力に使用したいファイルサーバをリストから選択します。

2)③ [Novell ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ] には、ET-PS1のプリンタポートごとに、個別のテキストボックスが用意されています。パラレルポートは「P1」と表示されます。プリンタを接続するポートを選択します。矢印ボタンをクリックし、ET-PS1に接続したプリンタのサービス対象にするNovellリモートプリントサーバをリストから選択します。

注 意

IOADMINでは、Novellリモートプリントサーバの設定は行われません。選択したポートへのプリント出力を行うには、PCONSOLEまたはNWADMINを使用してリモートプリントサーバを設定してください。

3)④ [ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ] では、フレームタイプ (ET-PS1がネットワーク上の他のデバイスとの通信に使用するプロトコル) を選択します (複数選択可)。

4)⑤ [ﾃﾞﾊﾞｲｽに保存] ボタンをクリックします。

以上で設定は終了です。

■論理ポートの設定

論理ポートとは、「物理的なポート」、「LF (Line Feed:改行) コードがあるとCR (Carriage Return:復帰) コードを付加する」、「ジョブの前後に文字列を付加する」という３つの要素を組み合わせたポートのことです。IOADMINを使用すると、プリントサーバに論理ポートを簡単に設定できます。NetWareのプリントサーバとして使用する場合でDOSから印刷する場合に有効です。次の手順で論理ポートを設定します。

注 意

1)Windowsのプリンタポートモニタを使用したピアツーピア印刷では論理ポート設定は不要です。
2)WindowsNTのLPR印刷の場合、論理ポートを使用します。ただし、デフォルト設定をそのまま使用しますので設定は不要です。
3)NetWare環境でご使用になる場合は、下記の設定を行う前に、〔5.3.3 論理ポートとNetWare〕(P132) を参照してください。

1 **論理ポートを設定するET-PS1プリントサーバを選択します。**

〔設定〕メニューの〔論理ﾎﾟｰﾄ〕を選択します。

〔論理ﾎﾟｰﾄ設定〕ダイアログボックスに、選択しているプリントサーバで割り当てることができる論理ポートがすべて表示されます。

L1からL3までの論理ポートを割り当てられます。設定したい論理ポートを選択します。

2 [LFをLF+CRに変換する] の [Yes] または [No] を選択すると、ページの最後の行に続いてプリンタに発行される命令を変更できます。この命令を改行<LF>から改行<LF>+復帰<CR>に変更するには、[Yes] ボタンを選択します。

3 [前置文字列] テキストボックスに、プリンタに送信する前置文字列を入力します。印刷時にユーザが論理ポートを使用するたびに、ここに設定した前置文字列の命令に従ってプリンタが設定されます。
前置文字列の設定では、16進形式の制御コードを使用します。

4 [後置文字列] テキストボックスには、プリンタに送信する後置文字列を入力します。論理ポートを通じてプリンタへのコマンド送信を完了した後にプリンタに送信される命令です。
後置文字列の設定では、16進形式の制御コードを使用します。

参考

[前置文字列] [後置文字列] テキストボックスには、ASCIIコードで15文字 (16進30桁) までの制御コードを使用できます。
ET-PS1の全論理ポートで入力できる前置文字列と後置文字列の合計は、ASCIIコードで44文字 (16進数88桁) 以内に制限されています。
プリンタで使用できる制御コードについては、プリンタのマニュアルをご覧ください。制御コードまたはHPエミュレーションコマンドとして一覧表示されている可能性があります。

5 設定が終了したら [ﾃﾞﾊﾞｲｽに保存] ボタンをクリックします。

以上で設定は終了です。

第4章 Windows環境での設定

この章では、ET-PS1をWindows環境で使用する場合の設定方法を説明します。

4.1 概要

ET-PS1プリントサーバは、NetBEUIかTCP/IPのどちらかのトランスポートプロトコルを使用しているWindowsをサポートしています。

ET-PS1の各プロトコル（NetBEUI,TCP/IP）使用時の特徴

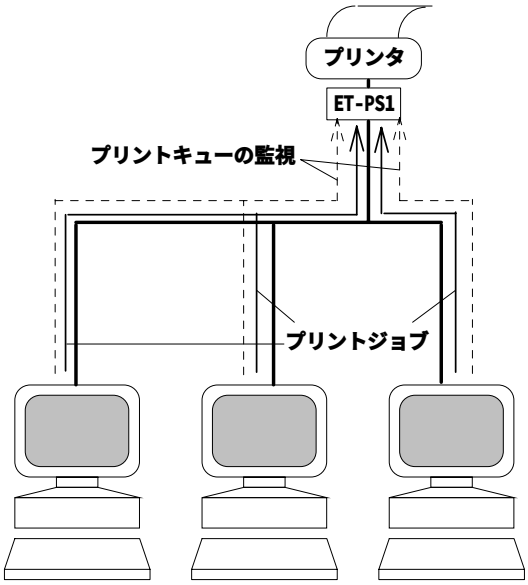
・ピアツーピア印刷（各パソコンは、プリントジョブを直接ET-PS1プリンタポートに送信します。）
・付属の「プリンタ・ポートモニタ」でプリントキューを監視
・LPRにも対応

参照

「ピアツーピア」、「NetBEUIプロトコル」、「TCP/IP」、「LPR」については、【付録2 用語説明】(P159)を参照してください。

■Windowsプリントサーバ

付属の「プリンタ･ポートモニタ」をそれぞれのクライアントにインストールすれば、「プリンタ･ポートモニタ」がプリントキューの監視を行い、クライアントからのプリントジョブを別個に処理します。

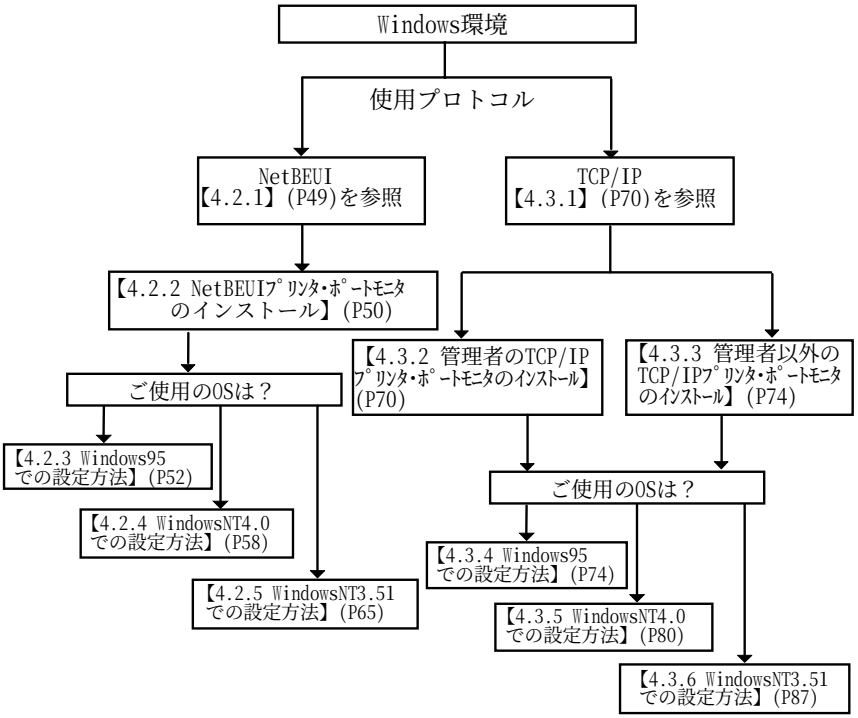


(それぞれのクライアントに「プリンタ･ポートモニタ」がインストール済み)

ここからは、以下のフローに従って必要な箇所をお読みください。

参考

[NetBEUI、TCP/IPの特徴]
・NetBEUI
①ルーティング不可（小規模LAN用）
②TCP/IPに比べ高速
・TCP/IP
①ルーティング可（大規模LAN用）
②NetBEUIに比べ低速



参考

TCP/IPプロトコルは、大規模LANで有効ですがIP設定が必要なため、多少設定が煩雑になります。NetBEUIプロトコルでの設定は、TCP/IPプロトコルでの設定に比べ簡易になります。
また、WindowsNTでLPR印刷（TCP/IPのみ）を行う際の設定は、【4.4 WindowsNTからのLPR印刷設定】（P92）を参照してください。

4.2 ET-PS1プリントサーバの設定（NetBEUIの場合）

ET-PS1では、NetBEUIプロトコルを使って、ネットワーク上のパソコンにまったく負荷を掛けずにプリンタを集中的に管理するように設定できます。さらにNetBEUIユーザは、他のネットワークユーザと同様に同じプリンタに印刷できるようになります。また、設定も簡単です。ET-PS1を使うには、各パソコンに付属の「プリンタ・ポートモニタ」をインストールし、プリンタの設定をするだけです。ここでは、パソコンで、1台または追加のプリンタと一緒にNetBEUIプリンタ・ポートモニタをインストールし、設定する方法を説明します。（ET-PS1を使用する全てのパソコンで設定が必要です。）

注 意

[第3章] でIOADMINをインストールしている場合は、IOADMINの[設定]→[ｼｽﾃﾑ]の「NetBEUIﾌﾟﾛﾄｺﾙ」が「有効」に設定されているか確認してください。デフォルトでは「有効」です。

4.2.1 NetBEUIﾌﾟﾛﾄｺﾙを使用可能にする

ET-PS1のNetBEUIプリンタポートモニタをインストールする前に、使用しているWindowsでNetBEUIトランスポートプロトコルが使用可能になっていることを次の手順で確認します。

1 『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾈｯﾄﾜｰｸ』を選択します。

2 ネットワークソフトウェアコンポーネントの一覧にNetBEUIプロトコルが表示されていることを確認します。表示されていない場合は、NetBEUIプロトコルを追加します。ネットワークプロトコルを追加する方法については、Windowsの取扱説明書をご覧ください。

Windows95の場合)

4.2.2 NetBEUIプリンタ･ポートモニタのインストール

1 「ET-PS1 プリンタ･ポートモニタ」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入します。

2 『ｽﾀｰﾄ』メニューの[ﾌｧｲﾙ名を指定して実行]を選択し、次のように入力します。
WindowsNT3.51の場合は、『プログラムマネージャ』→『アイコン』の[ファイル名を指定して実行]を選択してください。

A:\SETUP・ （下線部入力）
（フロッピィディスクドライブがAの場合）

3 インストール画面に表示される内容を読み、読み終わったら［次へ］ボタンをクリックします。

4 この画面には、デフォルトのインストール先が表示されます。
異なるパスにインストールしたい場合は、［参照］ボタンをクリックし、パスを選択または入力します。［次へ］ボタンをクリックします。

5 [NetBEUI プロトコル] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

6 インストールするソフトウェアを格納するプログラムフォルダ（プログラムグループ）を選択します。（デフォルトは『PLANT』です。）

ET-PS1のNetBEUIプリンタ・ポートモニタのインストールが終了すると、Windowsを再起動するようにメッセージが表示されます。一度再起動してください

この後、各パソコンでET-PS1のNetBEUIプリンタポート・モニタの設定が必要です。

Windows95の場合　……次ページ参照

WindowsNT4.0の場合 …P58参照

WindowsNT3.51の場合…P65参照

4.2.3 Windows95での設定方法

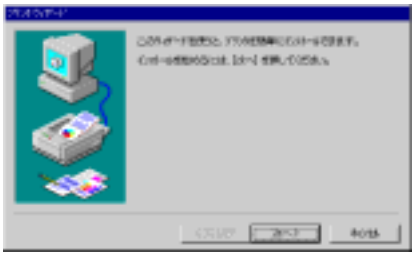
ET-PS1をNetBEUIで使用するには、各パソコンでET-PS1のNetBEUIプリンタ・ポートモニタを使用する設定が必要です。NetBEUIプリンタ・ポートモニタは、パソコンのプリンタポートとして認識され、プリンタポートは1つのプリンタでのみ使用されます。ただし、追加プリンタ用の追加プリンタポートを作成することもできます。ここでは、最初のNetBEUIプリンタを設定する方法を説明します。

注 意

以下の作業の前に次の事項について確認してください。
1) NetBEUIプリンタ・ポートモニタがインストール済みであること。
2) ネットワークに接続され、ET-PS1の電源がオンになっていること。
3) プリンタのプリンタポートにET-PS1が正しく接続されていること。

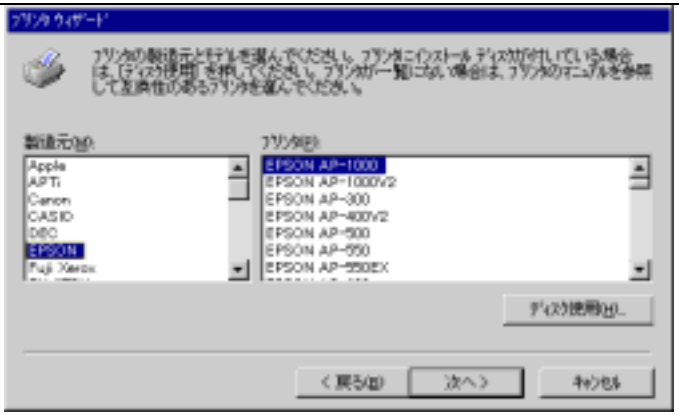
1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 [ﾌﾟﾘﾝﾀの追加] をダブルクリックします。ﾌﾟﾘﾝﾀｳｨｻﾞｰﾄﾞが起動します。
[次へ] ボタンをクリックします。



3 [ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

4 印刷に使用するET-PS1接続のプリンタの製造元とプリンタのモデルを選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

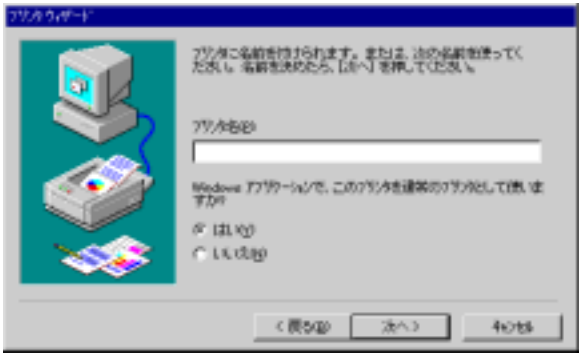


5 **[利用できるﾎﾟｰﾄ] で [ET-PS1 I-O DATA PTP Port] を選択します。**
[ﾎﾟｰﾄの設定] ボタンをクリックします。

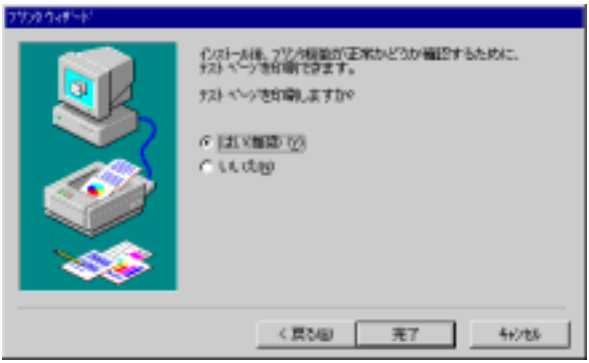
6 **表示されるダイアログボックスで、以下の操作を行います。**

① [参照] ボタンをクリックします。
ネットワーク上のET-PS1プリントサーバが検索され、利用できるET-PS1が一覧表示されます。
②印刷で使用するプリンタに接続されているET-PS1を選択します。
③各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰを有効にする] ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。
④ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する [ﾘﾄﾗｲ間隔] を設定します。
設定後、[OK] ボタンをクリックし、「ﾌﾟﾘﾝﾀｳｨｻﾞｰﾄﾞ」ダイアログボックスで、[次へ] ボタンをクリックします。

7 プリンタ名を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



8 この設定を終了したときにテストページを印刷するかどうかを選択します。[完了] ボタンをクリックします。



参照

EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C,MJ-6000C, MJ-8000C,MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-910C,MJ-930C,PM-700Cで、説明のとおりにWindows95でプリンタを接続して設定しても、印刷できない場合は、〔付録1 困ったときには〕(P144)を参照してください。

以上でWindows95への設定は終了です。

参考

プリンタを共有プリンタに設定できます。この場合、設定中のパソコンでプリンタのキューが管理されます。すべてのユーザジョブは、そのパソコンで受信され、ハードディスクに保存されます。プリンタが他のジョブを処理中の場合、そのジョブの終了後に、キューがプリンタに転送されます。

■Windows95でET-PS1プリンタを追加する方法

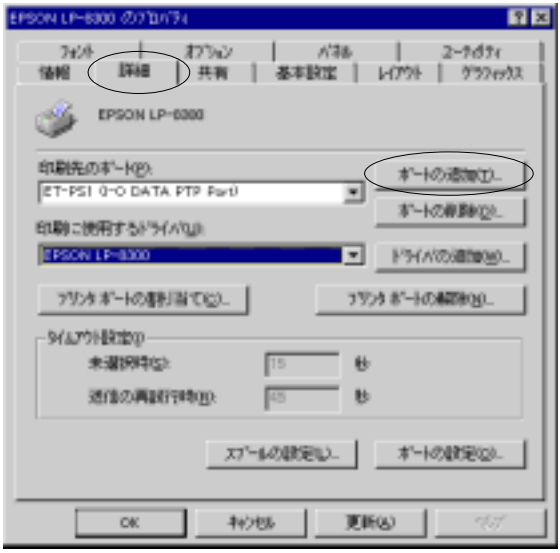
注意

ET-PS1がすでに稼動しているネットワークに、新たにET-PS1プリンタを追加する場合、2番目のET-PS1プリンタの作成に、最初のET-PS1プリンタで使われたポートは使用できません。ネットワーク上のパソコンから複数のプリンタに印刷したい場合は、以下の手順で別のポート用に作成したNetBEUIプリンタを使う必要があります。

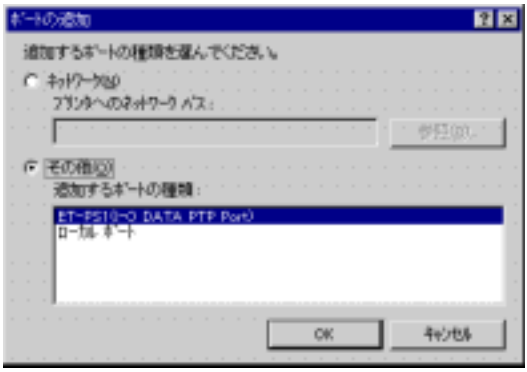
1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 既存のプリンタを選択し、『ﾌｧｲﾙ』メニューの『ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』を選択します。

3 「詳細」タブ→[ﾎﾟｰﾄの追加]ボタンをクリックします。



4 [その他] オプションを選択し、リストから「ET-PS1(I-O DATA PTP Port)」を選択し、[OK]ボタンを押します。



5 **表示されたダイアログボックスで、以下の操作を行います。**

① [参照] ボタンをクリックします。ネットワーク上のET-PS1プリントサーバが検索され、利用できるET-PS1が一覧表示されます。
②追加したいET-PS1を選択します。
③新しいプリンタポートの名前を「名前」テキストボックスに入力します。半角英数字で8文字まで使用できます。
④各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰを有効にする] ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。
⑤ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する[ﾘﾄﾗｲ間隔] を設定します。
設定後、[OK] ボタンをクリックします。

6 **「ﾎﾟｰﾄの追加」ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックし、プロパティダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックします。**

以上で新しいポートの追加は完了です。

4.2.4 WindowsNT4.0での設定方法

ET-PS1をNetBEUIで使用するには、各パソコンでET-PS1のNetBEUIプリンタ･ポートモニタを使用する設定が必要です。NetBEUIプリンタ･ポートモニタは、パソコンのプリンタポートとして認識され、プリンタポートは1つのプリンタでのみ使用されます。ただし、追加プリンタ用の追加プリンタポートを作成することもできます。ここでは、最初のNetBEUIプリンタを設定する方法を説明します。

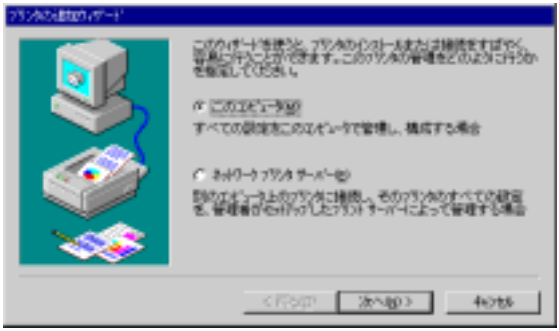
注 意

以下の作業の前に次の事項について確認してください。
1) NetBEUIプリンタ･ポートモニタがインストール済みなこと。
2) ネットワークに接続され、ET-PS1の電源がオンになっていること。
3) プリンタのプリンタポートにET-PS1が正しく接続されていること。

1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 [ﾌﾟﾘﾝﾀの追加] をダブルクリックします。ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞが起動します。

3 [ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ] ダイアログボックスで、[次へ] ボタンをクリックし、**[このコンピュータ]** を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



4 「利用可能なﾎﾟｰﾄ」で、[ET-PS1 (I-O DATA PTP Port)] を選択します。行頭のボックスがチェックされていることを確認してから、[ﾎﾟｰﾄの構成] ボタンをクリックします。

5 **表示されるダイアログボックスで、以下の操作を行います。**

① [参照] ボタンをクリックします。ネットワーク上のET-PS1プリントサーバが検索され、利用できるET-PS1が一覧表示されます。
②印刷で使用するプリンタに接続されているET-PS1を選択します。
③各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰ有効にする] ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。
④ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する [ﾘﾄﾗｲ間隔] を設定します。
設定後、[OK] ボタンをクリックします。

6 **印刷に使用するET-PS1接続のプリンタを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。**

7 **プリンタ名を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。**

8 **これを共有プリンタとするかどうかを選択します。[次へ] ボタンをクリックします。**

参 考

プリンタを共有プリンタに設定できます。この場合、設定中のパソコンでプリンタのキューが管理されます。すべてのユーザジョブは、そのパソコンで受信され、ハードディスクに保存されます。プリンタが他のジョブを処理中の場合、そのジョブの終了後に、キューがプリンタに転送されます。

9 この設定を終了したときにテストページを印刷するかどうかを選択します。
［完了］ボタンをクリックします。

以上でWindowsNT4.0への設定は終了です。

■WindowsNT4.0でET-PS1プリンタを追加する場合

注 意

ET-PS1がすでに稼動しているネットワークに、新たにET-PS1プリンタを追加する場合、2番目のET-PS1プリンタの作成に、最初のET-PS1プリンタで使われたポートは使用できません。ネットワーク上のパソコンから複数のプリンタに印刷したい場合は、以下の手順で別のポート用に作成したNetBEUIプリンタを使う必要があります。

1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 ［ﾌﾟﾘﾝﾀの追加］をダブルクリックします。ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞが起動します。

3 ［ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ］ダイアログボックスで、［次へ］ボタンをクリックし、**［このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ］**を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 [ﾎﾟｰﾄの追加] ボタンをクリックし、表示されたﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄダイアログボックスの [利用可能なﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄ] リストの[ET-PS1(I-O DATA PTP Port)]を選択してから [新しいﾎﾟｰﾄ] ボタンをクリックします。

5 表示されるダイアログボックスで、以下の操作を行います。

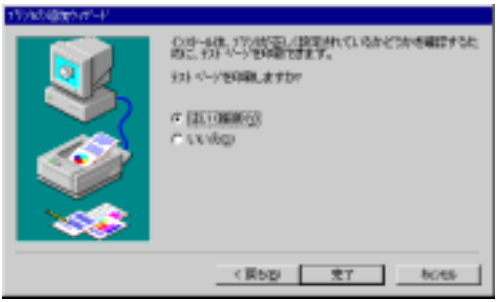
①[参照] ボタンをクリックします。ネットワーク上のET-PS1プリントサーバが検索され、利用できるET-PS1が一覧表示されます。
②追加したいET-PS1を選択します。
③新しいプリンタポートの名前を [名前] テキストボックスに入力します。半角英数字で13文字まで使用できます。
④各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰを有効にする] ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。
⑤ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する [ﾘﾄﾗｲ間隔] を設定します。
設定後、[OK] ボタンをクリックします。新しいプリンタが選択されていることを確認して、[ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ] ダイアログボックスの [次へ] ボタンをクリックします。

6 印刷に使用するET-PS1接続のプリンタを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

7 プリンタ名を入力します。[次へ] ボタンをクリックします。

8 **これを共有プリンタとするかどうかを選択します。**
[次へ] ボタンをクリックします。

9 **この設定を終了したときにテストページを印刷するかどうかを選択します。**
[完了] ボタンをクリックします。



以上でET-PS1の追加設定は終了です。

4.2.5 WindowsNT3.51での設定方法

ここでは、ET-PS1のNetBEUIプリンタ･ポートモニタをWindows NT3.51で使用する方法を説明します。個々のET-PS1プリントサーバのプリンタにプリンタ･ポートモニタを設定し、パソコンで使用するプリンタ設定を行う必要があります。

注 意

以下の作業の前に次の事項について確認してください。
1) NetBEUIプリンタ･ポートモニタがインストール済みであること。
2) ネットワークに接続され、ET-PS1の電源がオンになっていること。
3) プリンタのプリンタポートにET-PS1が正しく接続されていること。

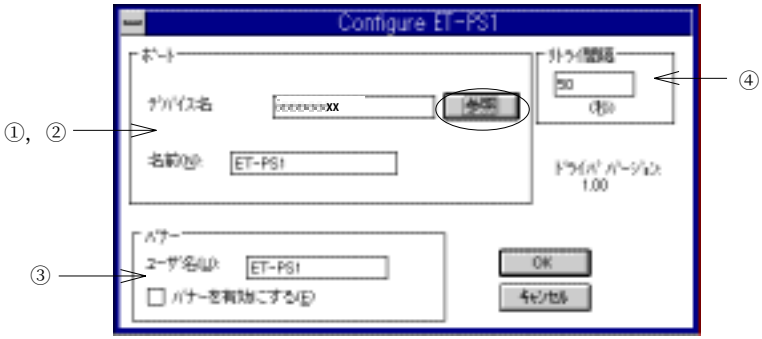
1 [メイン]プログラムグループの[プリントマネージャ]を起動します。

2 [プリンタ]メニューの[プリンタの作成]を選択します。

①「プリンタ名」で印刷に使用するET-PS1のプリンタポートに接続されているプリンタの名前を入力します。
②「ドライバ」のプルダウンメニュー（矢印マークをクリック）からET-PS1のプリンタポートに接続されているプリンタに合ったプリンタドライバを選択します。
③「説明」にプリンタについての説明を入力します。
④「印刷先」のプルダウンメニュー（矢印マークをクリック）のリストから「ET-PS1」を選択します。

3 [ポート設定]ボタンをクリックします。

4 **表示されるダイアログボックスで、以下の操作を行います。**



①[参照]ボタンをクリックします。ネットワーク上のET-PS1プリントサーバが検索され、利用できるET-PS1が一覧表示されます。
②印刷で使用するプリンタに接続されているET-PS1を選択します。
③各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰを有効にする] ボックスをチェックします。名前が、バナーヘッドに表示される名前に変更されていることを確認してください。
④ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する [ﾘﾄﾗｲ間隔] を設定します。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

5 **「プリンタの作成」ダイアログボックスで、[OK]ボタンをクリックし設定を終了します。**

参考

プリンタを共有可能プリンタに設定できます。この場合、設定中のパソコンでプリンタのキューが管理されます。すべてのユーザジョブは、そのパソコンで受信され、ハードディスクに保存されます。プリンタが他のジョブを処理中の場合、そのジョブの終了後に、キューがプリンタに転送されます。

以上で設定は終了です。

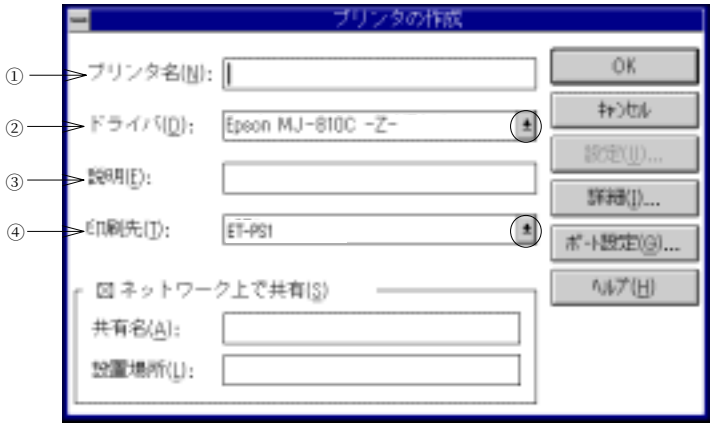
■WindowsNT3.51でET-PS1プリンタを追加する方法

注 意

ET-PS1がすでに稼動しているネットワークに、新たにET-PS1プリンタを追加する場合、2番目のET-PS1プリンタの作成に、最初のET-PS1プリンタで使われたポートは使用できません。ネットワーク上のパソコンから複数のプリンタに印刷したい場合は、以下の手順で別のポート用に作成したNetBEUIプリンタを使う必要があります。

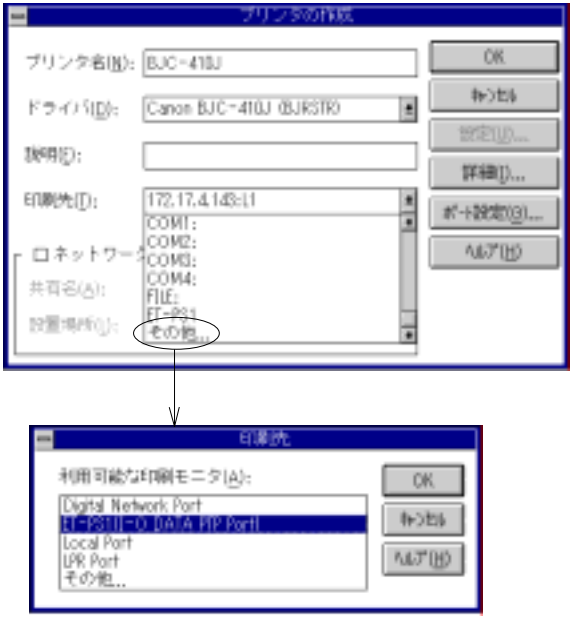
1 [メイン]プログラムグループの[プリントマネージャ]を起動します。

2 [プリンタ]メニューの[プリンタの作成]を選択します。

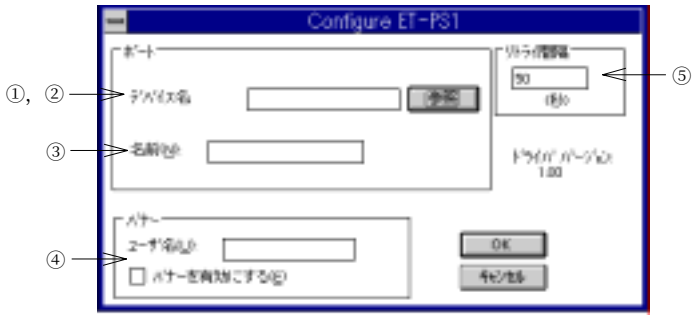


①「プリンタ名」で印刷に使用するET-PS1のプリンタポートに接続されているプリンタの名前を入力します。
②「ドライバ」のプルダウンメニュー（矢印マークをクリック）からET-PS1のプリンタポートに接続されているプリンタに合ったプリンタドライバを選択します。
③「説明」にプリンタについての説明を入力します。
④ 1)「印刷先」のプルダウンメニュー（矢印マークをクリック）のリストから『その他...』を選択します。

2)「利用可能な印刷モニタ」リストから「ET-PS1(I-O DATA PTP Port)」を選択します。
3)[OK]ボタンをクリックします。



3 表示されるダイアログボックスで、以下の操作を行います。



①[参照]ボタンをクリックします。ネットワーク上のET-PS1プリントサーバが検索され、利用できるET-PS1が一覧表示されます。

②追加したいET-PS1を選択します。
③ポートの[名前]を入力します。半角英数字で13文字まで使用できます。
④各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰを有効にする] ボックスをチェックします。名前が、バナーヘッドに表示される名前に変更されていることを確認してください。
⑤ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する [ﾘﾄﾗｲ間隔] を設定します。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

「プリンタの作成」ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックし、設定を終了します。

以上で追加設定は終了です。

4.3 ET-PS1プリントサーバの設定（TCP/IPの場合）

注 意

[第3章] でIOADMINをインストールしている場合は、IOADMINの[設定]→[ｼｽﾃﾑ]の「TCP/IPﾌﾟﾛﾄｺﾙ」が「有効」に設定されているか確認してください。デフォルトでは「有効」です。

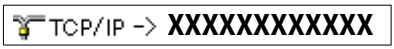
4.3.1 TCP/IPﾌﾟﾛﾄｺﾙを使用可能にする

ET-PS1のTCP/IPプリンタポートモニタをインストールする前に、使用しているパソコンでTCP/IPトランスポートプロトコルが使用可能になっていることを次の手順で確認します。

1 『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾈｯﾄﾜｰｸ』を選択します。

2 ネットワークソフトウェアコンポーネントの一覧にTCP/IPプロトコルが表示されていることを確認します。表示されていない場合は、TCP/IPプロトコルを追加します。ネットワークプロトコルを追加する方法については、Windowsの取扱説明書をご覧ください。

Windows95の場合)



4.3.2 管理者のTCP/IPﾌﾟﾘﾝﾀ･ﾎﾟｰﾄﾓﾆﾀのインストール

・TCP/IPプリンタ･ポートモニタのインストール

ET-PS1のTCP/IPプリンタ･ポートモニタは、ピアツーピア印刷でパソコンがET-PS1と直接通信するためのプリンタドライバです。

■インストール

1 「ET-PS1 プリンタ･ポートモニタ」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入します。

2 『ｽﾀｰﾄ』メニューの［ﾌｧｲﾙ名を指定して実行］を選択し、次のように入力します。WindowsNT3.51の場合は、『プログラムマネージャ』→『アイコン』の［ファイル名を指定して実行］を選択します。

A:\SETUP・ （フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）

3 **インストール画面に表示される内容を読み、読み終わったら［次へ］ボタンをクリックします。**

4 **この画面には、デフォルトのインストール先が表示されます。**
異なるパスにインストールしたい場合は、［参照］ボタンをクリックし、パスを選択または入力します。
［次へ］ボタンをクリックします。

5 **［TCP/IP プロトコル］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

6 **インストールするソフトウェアコンポーネントを選択します。**

［ET-PS1ドライバインストール］

このコンポーネントは、ET-PS1プリントサーバの使用を許可するET-PS1プリントドライバです。ET-PS1プリントサーバを使用するすべてのパソコンにこのプリンタドライバをインストールする必要があります。

[SetBox.EXE インストール（システム管理者用）]

SetBoxは、管理者がET-PS1プリントサーバのIPアドレスを設定するためのツールです。管理者以外はインストールする必要がありません。
（詳細は ・ SetBoxによるET-PS1の設定(P73)を参照）

7 インストールするソフトウェアを格納するプログラムフォルダ（プログラムグループ）を選択します。

注 意

SetBoxで設定済みの「ET-PS1プリンタ・ポートモニタ」ディスクをご使用の場合は、ファイルのコピー中にデフォルトのET-PS1、IPアドレスの確認ダイアログボックスが表示されます。
この設定を使用する場合は[はい]ボタンをクリックしてください。

ET-PS1のTCP/IPプリンタ・ポートモニタのインストールが終了すると、Windows を再起動するようにメッセージが表示されます。一度再起動してください。

・SetBoxによるET-PS1の設定

SetBoxは、管理者がET-PS1プリントサーバのIPアドレスを設定するためのツールです。SetBoxを使用して、IPアドレスをフロッピィディスクに書き込みます。この書き込んだフロッピィディスクでプリンタ・ポートモニタをインストールすれば、IPアドレスの入力が不必要になります。ET-PS1プリントサーバを使用するユーザに、ET-PS1プリントサーバのIPアドレスを簡単に提供できます。

●設定方法

1 『PLANT』プログラムグループから『SetBox』を選択してください。

①「ﾃﾞﾊﾞｲｽのｼﾘｱﾙ番号」にIPアドレスを設定するET-PS1プリントサーバのシリアル番号を入力します。

②「IP ｱﾄﾞﾚｽ」にET-PS1サーバに割り当てるIPアドレスを入力します。

③「ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ」にET-PS1がネットワークとの通信に使用するゲートウェイまたはルータのIPアドレスを入力します。

④「ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ」に必要に応じてサブネットマスクアドレスを入力します。

2 [ﾃﾞﾊﾞｲｽに保存]ボタンをクリックします。設定に成功すると、ET-PS1本体にIPアドレスが書き込まれます。

3 以下のダイアログボックスが表示されますので、この設定をフロッピィディスクに保存する場合、[はい]ボタンをクリックしてください。

4 「ET-PS1 プリンタ･ポートモニタ」ディスク（実行用ディスク）のプロテクトを解除し、フロッピィディスクドライブに「ET-PS1 プリンタ･ポートモニタ」ディスクを入れ、[OK]ボタンをクリックしてください。設定をフロッピィディスクに書き込みます。

このフロッピィディスクを使用して、ET-PS1プリントサーバを利用するユーザへのTCP/IPプリンタ･ポートモニタのインストールを円滑に行うことができます。

4.3.3 管理者以外のTCP/IPプリンタ･ポートモニタのインストール

【4.3.2 管理者のTCP/IPプリンタ･ポートモニタのインストール】の・を参照して、インストールしてください。このとき、SetBoxでIPアドレスを書き込んだフロッピィディスクの使用をお勧めします。
また、**6** のSetBoxのインストールは必要ありませんので、チェックを外して続行してください。

4.3.4 Windows95での設定方法

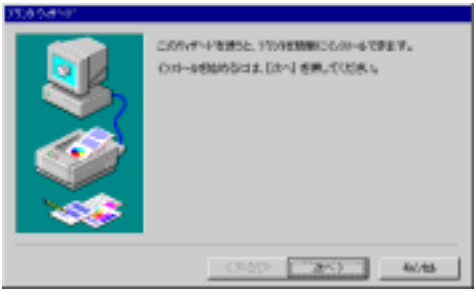
ここでは、ET-PS1のTCP/IPプリンタ･ポートモニタをWindows95で使用する方法を説明します。個々のET-PS1プリントサーバのプリンタにプリンタ･ポートモニタを設定し、使用するプリンタ設定を行う必要があります。

注 意

以下の操作の前に次の事項について確認してください。
1) TCP/IPプリンタ･ポートモニタがインストール済みであること。
2) ネットワークに接続され、ET-PS1の電源がオンになっていること。
3) プリンタのプリンタポートにET-PS1が正しく接続されていること。

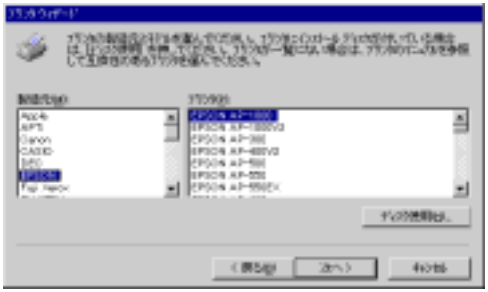
1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 [ﾌﾟﾘﾝﾀの追加] をダブルクリックします。ﾌﾟﾘﾝﾀｳｨｻﾞｰﾄﾞが起動します。
[次へ] ボタンをクリックします。



3 **[ﾛｰｶﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]** を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

4 印刷に使用するET-PS1接続のプリンタの製造元と機種を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



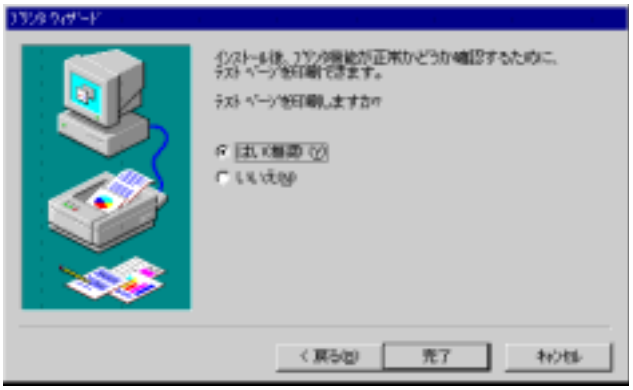
5 [利用できるﾎﾟｰﾄ] で、[ET-PS1 I-O DATA PTP Port] を選択します。[ﾎﾟｰﾄの設定] ボタンをクリックします。

6 表示されるダイアログボックスで、以下の操作を行います。

①使用するET-PS1プリントサーバのIPアドレスを入力します。
（SetBoxで設定済みの「ET-PS1 プリンタ・ポートモニタ」ディスクを使用して、TCP/IPプリンタ・ポートモニタをインストールした場合は、入力する必要はありません。）
②各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、［ﾊﾞﾅｰを有効にする］ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。
③ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する［ﾘﾄﾗｲ間隔］を設定します。
設定後、［OK］ボタンをクリックします。

7 プリンタ名を入力します。この名前は、プリンタを識別するために使用されます。［次へ］ボタンをクリックします。

8 **この設定を終了したときにテストページを印刷するかどうかを選択します。**
［完了］ボタンをクリックします。



参照

EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C,MJ-6000C, MJ-8000C,MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-910C,MJ-930C,PM-700Cで、説明のとおりにWindows95でプリンタを接続して設定しても、印刷できない場合は、【付録1 困ったときには】(P144)を参照してください。

注 意

プリンタを共有プリンタに設定できます。この場合、設定中のパソコンでプリンタのキューが管理されます。すべてのユーザジョブは、そのパソコンで受信され、ハードディスクに保存されます。プリンタが他のジョブを処理中の場合、そのジョブの終了後に、キューがプリンタに転送されます。

以上で設定は終了です。

■Winodws95でET-PS1プリンタを追加する場合

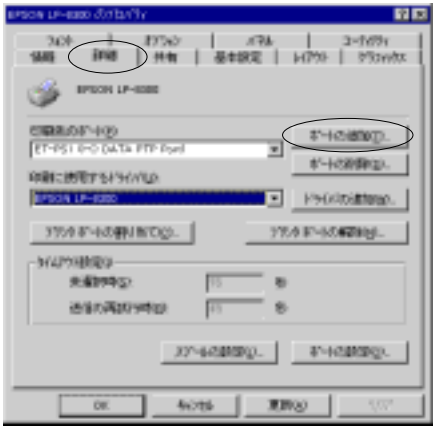
注 意

ET-PS1がすでに稼動しているネットワークに、新たにET-PS1プリンタを追加する場合、2番目のET-PS1プリンタの作成に、最初のET-PS1プリンタで使われたポートは使用できません。ネットワーク上のパソコンから複数のプリンタに印刷したい場合は、以下の手順で別のポート用に作成したTCP/IPプリンタを使う必要があります。
管理者は以下の操作の前に、IOADMINまたはSetBoxを使用して、追加するET-PS1にIPアドレスを設定してください。

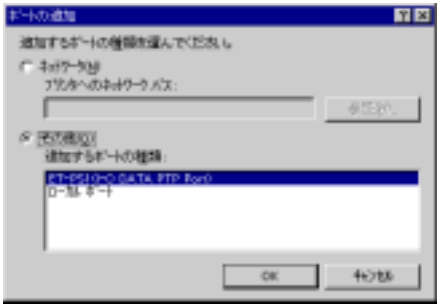
1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 既存のプリンタを選択し、『ﾌｧｲﾙ』メニューの『ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』を選択します。

3 [詳細]タブ→[ﾎﾟｰﾄの追加]ボタンをクリックします。



4 **[その他]オプションを選択し、リストから「ET-PS1 (I-O DATA PTP Port)」を選択し、[OK]ボタンを押します。**



5 **表示されるダイアログボックスで以下の操作を行います。**

①使用するET-PS1プリントサーバーのIPアドレスを入力します。
②新しいプリンタポートの名前を「名前」テキストボックスに入力します。半角英数字で8文字まで使用できます。
③各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰを有効にする] ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。
④ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する [ﾘﾄﾗｲ間隔] を設定します。
設定後、[OK]ボタンをクリックし、プロパティダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックします。

これでポートの作成は終了です。ここで作成したポートを使ってプリンタを作成できます。

4.3.5 WindowsNT4.0での設定方法

ここでは、ET-PS1のTCP/IPプリンタ･ポートモニタをWindows NT4.0で使用する方法を説明します。個々のET-PS1プリントサーバのプリンタにプリンタ･ポートモニタを設定し、パソコンで使用するプリンタ設定を行う必要があります。

注 意

以下の操作の前に次の事項について確認してください。
1) TCP/IPプリンタ･ポートモニタがインストール済みであること。.
2) ネットワークに接続され、ET-PS1の電源がオンになっていること。
3) プリンタのプリンタポートにET-PS1が正しく接続されていること。

1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 [ﾌﾟﾘﾝﾀの追加] をダブルクリックします。ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞが起動します。

3 [ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ] ダイアログボックスで、[次へ] ボタンをクリックし、[このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

4 「利用可能なﾎﾟｰﾄ」で、[ET-PS1 (I-O DATA PTP Port)] を選択します。行頭のボックスがチェックされていることを確認してから、[ﾎﾟｰﾄの構成] ボタンをクリックします。

5 表示されるダイアログボックスで、以下の操作を行います。

①使用するET-PS1プリントサーバのIPアドレスを入力します。
（SetBoxで設定済みの「ET-PS1 プリンタ・ポートモニタ」ディスクを使用して、TCP/IPプリンタ・ポートモニタをインストールした場合は、入力する必要はありません。）
②各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、「ﾊﾞﾅｰを有効にする」ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。
③ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する[ﾘﾄﾗｲ間隔]を設定します。
設定後、[OK] ボタンをクリックします。

6 使用するET-PS1プリントサーバに接続されているプリンタの製造元と機種を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

7 **プリンタ名を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。**

8 **これを共有プリンタとするかどうかを選択します。[次へ] ボタンをクリックします。**

参 考

プリンタを共有プリンタに設定できます。この場合、設定中のパソコンでプリンタのキューが管理されます。すべてのユーザジョブは、そのパソコンで受信され、ハードディスクに保存されます。プリンタが他のジョブを処理中の場合、そのジョブの終了後に、キューがプリンタに転送されます。

9 この設定を終了したときにテストページを印刷するかどうかを選択します。
[完了] ボタンをクリックします。

以上で設定は終了です。

■WindowsNT4.0でET-PS1プリンタを追加する場合

注 意

ET-PS1がすでに稼動しているネットワークに、新たにET-PS1プリンタを追加する場合、2番目のET-PS1プリンタの作成に、最初のET-PS1プリンタで使われたポートは使用できません。ネットワーク上のパソコンから複数のプリンタに印刷したい場合は、以下の手順で別のポート用に作成したTCP/IPプリンタを使う必要があります。
管理者は以下の操作の前に、IOADMINまたはSetBoxを使用して、追加するET-PS1にIPアドレスを設定してください。

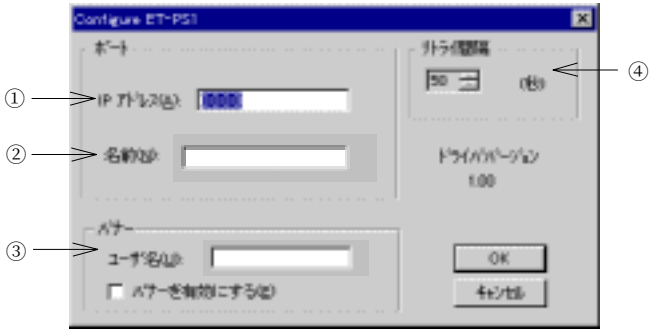
1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 [ﾌﾟﾘﾝﾀの追加]をダブルクリックします。ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞが起動します。

3 [ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ] ダイアログボックスで、[次へ] ボタンをクリックし、[このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

4 **[ﾎﾟｰﾄの追加] ボタンをクリックし、表示された「ﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄ」ダイアログボックスの [利用可能なﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄ] リストの[ET-PS1 (I-O DATA PTP Port)]を選択してから [新しいﾎﾟｰﾄ] ボタンをクリックします。**

5 **表示されるダイアログボックスで、以下の操作を行います。**



①使用するET-PS1プリントサーバのIPアドレスを入力します。
②新しいプリンタポートの名前を [名前] テキストボックスに入力します。半角英数字で13文字まで使用できます。
③各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰを有効にする] ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。
④ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する[ﾘﾄﾗｲ間隔]を設定します。

設定後、[OK] ボタンをクリックします。新しいプリンタが選択されていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

6 ET-PS1のプリンタポートに接続された印刷に使用するプリンタに適したプリンタとプリンタドライバを選択します。[次へ] ボタンをクリックします。

7 プリンタ名を入力します。[次へ] ボタンをクリックします。

8 これを共有プリンタとするかどうかを選択します。
［次へ］ボタンをクリックします。

参考

プリンタを共有プリンタに設定できます。この場合、設定中のパソコンでプリンタのキューが管理されます。すべてのユーザジョブは、そのパソコンで受信され、ハードディスクに保存されます。プリンタが他のジョブを処理中の場合、そのジョブの終了後に、キューがプリンタに転送されます。

9 この設定を終了したときにテストページを印刷するかどうかを選択します。
［完了］ボタンをクリックします。

以上でET-PS1の追加設定は終了です。

4.3.6 WindowsNT3.51での設定方法

ここでは、ET-PS1のTCP/IPプリンタポートモニタをWindows NT3.51で使用する方法を説明します。個々のET-PS1プリントサーバのプリンタにプリンタポートモニタを設定し、パソコンで使用するプリンタ設定を行う必要があります。

注 意

以下の操作の前に次の事項について確認してください。
1) TCP/IPプリンタ・ポートモニタがインストール済みであること。
2) ネットワークに接続され、ET-PS1の電源がオンになっていること。
3) プリンタのプリンタポートにET-PS1が正しく接続されていること。

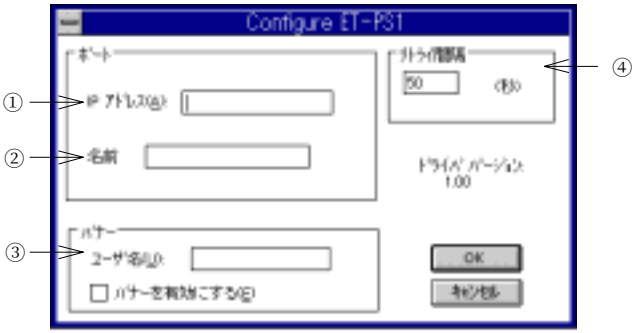
1 [メイン]プログラムグループの[プリントマネージャ]を起動します。

2 [プリンタ]メニューの[プリンタの作成]を選択します。

①「プリンタ名」で印刷に使用するET-PS1のプリンタポートに接続されているプリンタの名前を入力します。
②「ドライバ」のプルダウンメニュー（矢印マークをクリック）からET-PS1のプリンタポートに接続されているプリンタに合ったプリンタドライバを選択します。
③「説明」にプリンタについての説明を入力します。
④「印刷先」のプルダウンメニュー（矢印マークをクリック）のリストからET-PS1を選択します。

3 **[ポート設定]ボタンをクリックします。**

4 **表示されるダイアログボックスで、以下の操作を行います。**



①ET-PS1プリントサーバに割り当てられている[IPアドレス]を入力します。
（SetBoxで設定済みの「ET-PS1 プリンタ・ポートモニタ」ディスクを使用して、TCP/IPプリンタ・ポートモニタをインストールした場合は、入力する必要はありません。）
②ポートの名前を入力します。
③各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰを有効にする] ボックスをチェックします。名前が、バナーヘッドに表示される名前に変更されていることを確認してください。
④ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する[ﾘﾄﾗｲ間隔]を設定します。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

参考

プリンタを共有プリンタに設定できます。この場合、設定中のパソコンでプリンタのキューが管理されます。すべてのユーザジョブは、そのパソコンで受信され、ハードディスクに保存されます。プリンタが他のジョブを処理中の場合、そのジョブの終了後に、キューがプリンタに転送されます。

5 **[ＯＫ]ボタンをクリックし、設定を終了します。**

以上で設定は終了です。

■WindowsNT3.51でET-PS1を追加する場合

注 意

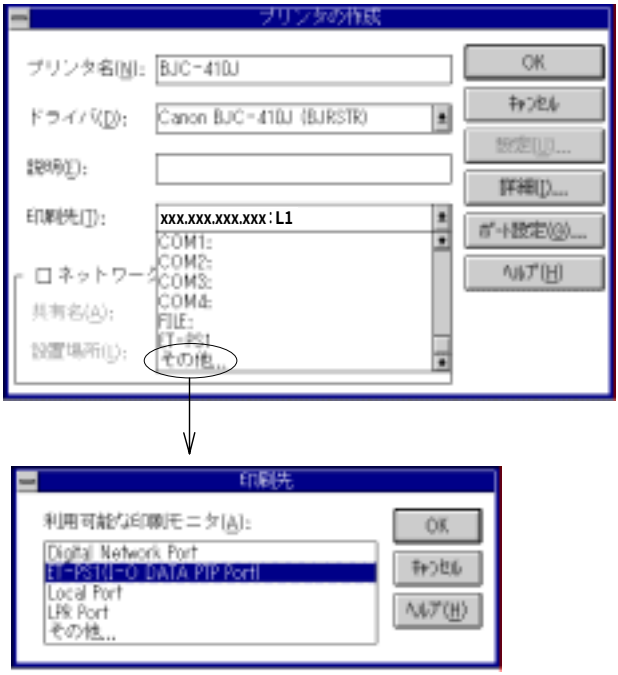
ET-PS1がすでに稼動しているネットワークに、新たにET-PS1プリンタを追加する場合、2番目のET-PS1プリンタの作成に、最初のET-PS1プリンタで使われたポートは使用できません。ネットワーク上のパソコンから複数のプリンタに印刷したい場合は、以下の手順で別のポート用に作成したTCP/IPプリンタを使う必要があります。
管理者は以下の操作の前に、IOADMINまたはSetBoxを使用して、追加するET-PS1にIPアドレスを設定してください。

1 **[メイン]プログラムグループの[プリントマネージャ]を起動します。**

2 **[プリンタ]メニューの[プリンタの作成]を選択します。**

①「プリンタ名」で印刷に使用するET-PS1のプリンタポートに接続されているプリンタの名前を入力します。
②「ドライバ」のプルダウンメニュー（矢印マークをクリック）からET-PS1のプリンタポートに接続されているプリンタに合ったプリンタドライバを選択します。
③「説明」にプリンタについての説明を入力します。

④「印刷先」のプルダウンメニュー（矢印マークをクリック）のリストから『その他...』を選択し、「利用可能なプリントモニタ」リストから「ET-PS1 (I-O DATA PTP Port)」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



3 **表示されるダイアログボックスで、以下の操作を行います。**

① [IPｱﾄﾞﾚｽ] テキストボックスに使用したいET-PS1プリントサーバに割り当てられているIPアドレスを入力します。
②ポートの[名前]を入力します。半角英数字で13文字まで使用できます。
③各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰを有効にする] ボックスをチェックします。名前が、バナーヘッドに表示される名前に変更されていることを確認してください。
④ET-PS1プリントサーバが別のジョブを実行中であるときにパソコンがET-PS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する[ﾘﾄﾗｲ間隔]を設定します。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

4 **[OK]ボタンをクリックし、設定を終了します。**

以上でET-PS1の追加設定は終了です。

4.4 WindowsNTからのLPR印刷設定

4.4.1 WindowsNT4.0でのLPR印刷

・プロトコル及びサービスの確認

WindowsNT4.0のLPR印刷を使用して、ET-PS1で印刷を行うためには、次のプロトコル及びサービスをインストールしておく必要があります。

①TCP/IP

②Microsoft TCP/IP印刷

③簡易TCP/IPサービス

・WindowsNT4.0の場合

1 **『ｽﾀｰﾄ』メニューから『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾈｯﾄﾜｰｸ』を選択し、[ﾌﾟﾛﾄｺﾙ]タブをクリックします。**

2 **「ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙ」にTCP/IPが組み込まれており、IPアドレス等が設定されているか確認してください。**
TCP/IPﾌﾟﾛﾄｺﾙが表示されていない場合は、[追加]ボタンをクリックし、TCP/IPﾌﾟﾛﾄｺﾙを組み込み、IPアドレス等の設定を行ってください。

3 **[ｻｰﾋﾞｽ]タブをクリックします。**

4 **ここで、上記の②、③が表示されているか確認してください。**
表示されていない場合は、[追加]ボタンをクリックし、これらをインストールしてください。

・IPアドレスの設定
上記の確認が終了したら、次にIPアドレスの設定を行います。

IOADMINによるIPアドレスの設定方法は、【3.3.3 TCP/IP用設定(Windows環境)】（P23）を参照してください。

・プリンタの設定

ET-PS1が接続されているプリンタをWindowsNT4.0から使用できるように、WindowsNT4.0を設定します。

1 **『ｽﾀｰﾄ』メニューから『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択し、[ﾌﾟﾘﾝﾀの追加]をダブルクリックします。「ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」ダイアログボックスが表示されます。**

2 **「このﾌﾟﾘﾝﾀの管理」については、[このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。**

3 **[利用可能なﾎﾟｰﾄ]のところで[ﾎﾟｰﾄの追加]をクリックします。**

4 **[利用可能なﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄ]のところで[LPR Port]を選択します。[LPR Port]が表示されていない場合は、WindowsNT4.0に必要なサービスがインストールされていませんので、・を参照して、必要なサービス及びプロトコルをインストールしてください。**

5 **[新しいﾎﾟｰﾄ] をクリックします。[LPR互換プリンタの追加]ダイアログボックスが表示されます。ここで、「lpdを使用しているサーバの名前またはｱﾄﾞﾚｽ」には、ET-PS1に設定したIPアドレス、「ｻｰﾊﾞのプリンタ名またはプリンタキュー名」には「L1」と入力してください。入力が終了したら[OK]ボタンをクリックします。**

6 **プリンタポートの設定画面に戻ります。[閉じる]ボタンをクリックして、「ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」に戻ってください。設定したポートがチェックされています。[次へ]ボタンをクリックします。**

7 **プリンタの製造元とモデルを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。**

8 **以降はプリンタウィザードの指示に従って、プリンタの追加を進めてください。**

■アクセス権の設定

WindowsNT4.0のファイルシステムにNTFSを使用している場合、WindowsNT4.0経由でLPR機能を使用して一般ユーザが印刷を行うには、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります。次の手順で変更してください。

1 **エクスプローラを起動し、次のフォルダをクリックします。**

\WINNT40\system32\spool\PRINTERS

2 **[ﾌｧｲﾙ]→[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]→[ｾｷｭﾘﾃｨ]→[ｱｸｾｽ権]の順にメニューを選択し、[EVERYONE]に対する権限を[ﾌﾙｺﾝﾄﾛｰﾙ]にします。**

■スプールの設定

LPR印刷の場合、印刷データのスプール方法は、[全ﾍﾟｰｼﾞ分のﾃﾞｰﾀをｽﾌﾟｰﾙしてから、印刷ﾃﾞｰﾀをﾌﾟﾘﾝﾀに送る]を選択してください。手順は次のとおりです。

1 **該当するプリンタのプロパティを開きます。**

2 **[ｽｹｼﾞｭｰﾙ]を選択し、[全ﾍﾟｰｼﾞ分のﾃﾞｰﾀをｽﾌﾟｰﾙしてから、印刷ﾃﾞｰﾀをﾌﾟﾘﾝﾀに送る]をチェックします。**

3 **双方向印刷をサポートしたプリンタを使用する場合は、必ず「双方向印刷をｻﾎﾟｰﾄしない」をチェックしてください。「双方向印刷をｻﾎﾟｰﾄする」をチェックした場合、書き込みエラーとなり、印刷できません。**

4.4.2 WindowsNT3.51でのLPR印刷

・プロトコル及びサービスの確認

WindowsNT3.51のLPR印刷を使用して、ET-PS1で印刷を行うためには、次のプロトコル及びサービスをインストールしておく必要があります。

①TCP/IP

②Microsoft TCP/IP印刷

③簡易TCP/IPサービス

■確認方法

・WindowsNT3.51の場合

1 **『コントロールパネル』→『ネットワーク』を選択します。**

2 **「組み込まれているネットワークソフトウェア」の中に、上記の①、②、③を確認してください。ない場合は次へ進んでください。**

3 **[ソフトウェアの追加]をクリックします。**

4 **[ネットワークソフトウェア]に[TCP/IPプロトコル及び関連コンポーネント]を選択し、[続行]をクリックします。**
さらに、[TCP/IPネットワーク印刷サポート]、[簡易TCP/IPサービス]をチェックし[続行]をクリックします。

後は画面の指示に従ってください。

・IPアドレスの設定
上記の確認が終了したら、次にIPアドレスの設定を行います。

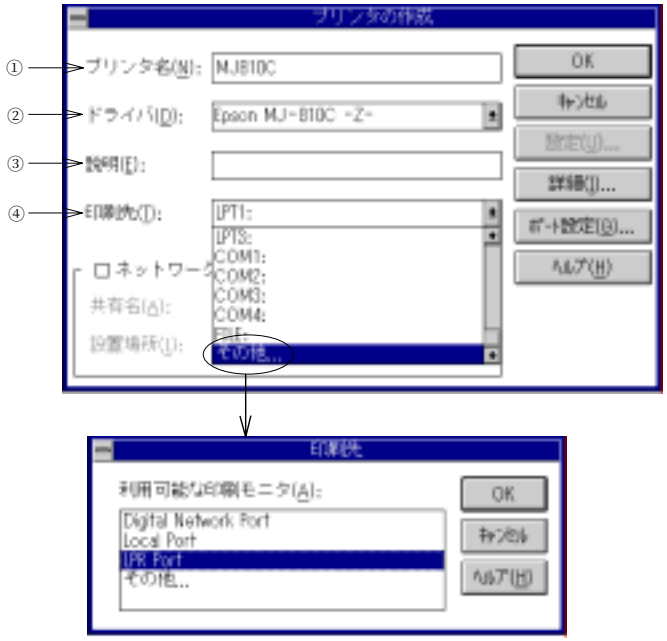
IOADMINによるIPアドレスの設定方法は、〔3.3.3 TCP/IP用設定(Windows環境)〕(P23)を参照してください。

・プリンタの設定

ET-PS1に接続されているプリンタを使用できるように、WindowsNT Workstationを設定します。複数のプリンタがET-PS1に接続されている場合は、接続されているプリンタごとに、設定を行います。

1 **『メインプログラムグループ』の[プリントマネージャ]を開きます。**

2 **[プリントマネージャ]の[プリンタ]メニューに移動し、[プリンタの作成]を選択します。[プリンタの作成]ダイアログボックスが表示されます。**



①[プリンタ名]に、プリンタの名前を入力します。
②[ドライバ]プルダウンリストから、プリンタのタイプにあうプリンタドライバを選択します。
③[説明]テキストボックスにプリンタを識別するための説明を入力します。
④ 1)[印刷先]プルダウンリストで、リストの下部にある[その他...]を選択

します。[印刷先]ダイアログボックスが表示されます。

2)[印刷先]ダイアログボックスの[利用可能な印刷モニタ]リストで、[LPR Port]を選択し、[OK]をクリックします。[LPR互換プリンタの追加]ダイアログボックスが表示されます。

3)[lpdを提供しているホストの名前またはアドレス]テキストボックスに、ET-PS1のIPアドレスを入力し、[コンピュータのプリンタ名]テキストボックスに、プリンタのポート名を次のように入力します。

L1

これは、ET-PS1の論理ポート1を使用することを示します。

4)入力が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

注 意

IOADMINを使用して、論理ポートを編集する必要はありません。

3 (オプション操作) プリントマネージャの「標準:」プルダウンリストで、設定したプリンタをパソコンのデフォルトプリンタとして選択します。(「標準:」プルダウンリストは、[ｵﾌﾟｼｮﾝ]メニューの[ツールバーの表示]をチェックした場合に表示されます。)

■アクセス権の設定

WindowsNT3.51のファイルシステムにNTFSを使用している場合、WindowsNT3.51経由でLPR機能を使用して一般ユーザが印刷を行うには、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります。次の手順で変更してください。

1 ファイルマネージャを起動し、次のディレクトリをクリックします。

\WINNT35\system32\spool\PRINTERS

2 [セキュリティー]→[アクセス権]の順にメニューを選択し、[EVERYONE]に対する権限を[フルコントロール]にします。

■スプールの設定

LPR印刷の場合、印刷データのスプール方法は、[スプール中にジョブを印刷する]設定にはしないでください。手順は次のとおりです。

1 プリントマネージャを開き、設定するプリンタをクリックし、[プリンタ]→[プリンタ情報]の順に開きます。

2 [詳細]をクリックします。

3 [スプール中にジョブを印刷する]のチェックを外します。その後[ＯＫ]をクリックします。さらに、[ＯＫ]をクリックし、[プリンタ情報]の画面を閉じます。

第5章 NetWare環境での設定

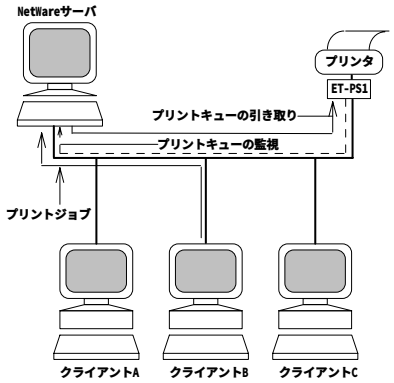
この章では、ET-PS1をNetWare環境で使用する場合の設定方法を説明します。

5.1 概要

ET-PS1では、NetWareディレクトリサービス（NDS）とNetWareバインダリの両方のネットワークをサポートしています。どちらのネットワークでも、ET-PS1をプリントサーバまたはリモートプリンタとして設定できます。

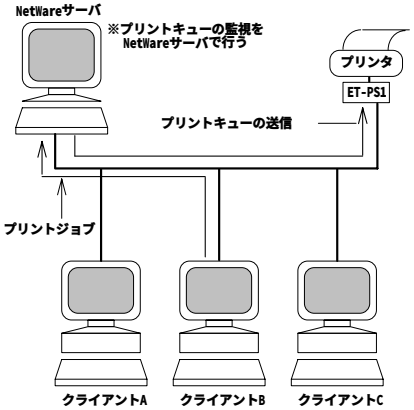
■プリントサーバモードの場合

クライアントBからのプリントジョブは、NetWareサーバー内に貯えられますが、ET-PS1がそのプリントキューを監視し、プリントキューを引き取ります。このため、NetWareサーバの負荷は軽減されます。



■リモートプリンタモードの場合

クライアントBからのプリントジョブはNetWareサーバ内に貯えられ、そのプリントキューをNetWareサーバが監視し、ET-PS1に送信します。このため、NetWareサーバの負荷が大きくなります。



ご使用のクライアントがNDSとNetWareバインダリのどちらで使用しているか、
また、プリントサーバとリモートプリンタのどちらのモードで使用するのか確認してください。

注 意

ET-PS1をNetWareに登録するためには、アドミニストレータ権限が
必要になります。

5.1.1 IOADMINによるET-PS1とNetWareの設定方法

IOADMINの［NetWare］オプションでは、一連のダイアログボックスの指示に従って設定作業を行います。NetWareが必要とするオブジェクトの作成と命名作業をIOADMINに任せる簡易設定（クイックセットアップ）や、個々の項目のユーザの指定（カスタムセットアップ）があります。

参 照

1)IOADMINのインストール方法については［第3章 管理ユーティリティ］（P11）を参照してください。
2)IOADMINを使用しての設定方法は、［3.3.4 IPX/SPX用設定（NetWare環境）］（P25）を参照してください。

5.2 DOSユーティリティによるET-PS1の設定方法

注 意

IOCONFIGはDOS/Vマシン上の、DOSのUSモードでのみ動作します。
NEC PC-9800シリーズでは使用できません。
また、ET-PS1をNetWareに登録するためには、アドミニストレータ権限が必要になります。

Windowsワークステーションがない場合、またはIOADMINユーティリティをインストールしない場合、ET-PS1とNetWareの設定作業に、DOSユーティリティ（IOCONFIGとPCONSOLE）が使用できます。

【IOCONFIG】

IOCONFIGは、ET-PS1専用のDOS用管理ユーティリティです。IOCONFIGを使用すると、ET-PS1本体に格納されている情報にアクセスし、その内容を変更できます。IOCONFIGでは次のような操作ができます。

- ET-PS1へのNetWareプリントサーバの割当て
- ET-PS1で使用するネットワーク設定
- 論理ポートの設定など

IOCONFIGは、ET-PS1に添付の「ET-PS1設定ツール」ディスクのDOSディレクトリの中に「DOS.EXE」という自己解凍ファイル形式の圧縮ファイルで入っています。

【PCONSOLE】

PCONSOLEは、NetWareに付属のユーティリティです。これを使用すると、NetWareネットワークでの印刷操作に必要なプリンタオブジェクトとプリントキューを作成できます。

ET-PS1の設定作業とNetWareの設定作業は、別々に行う必要があります。ここでは、上記のDOSユーティリティを使用してそれぞれの設定を行う方法について説明します。

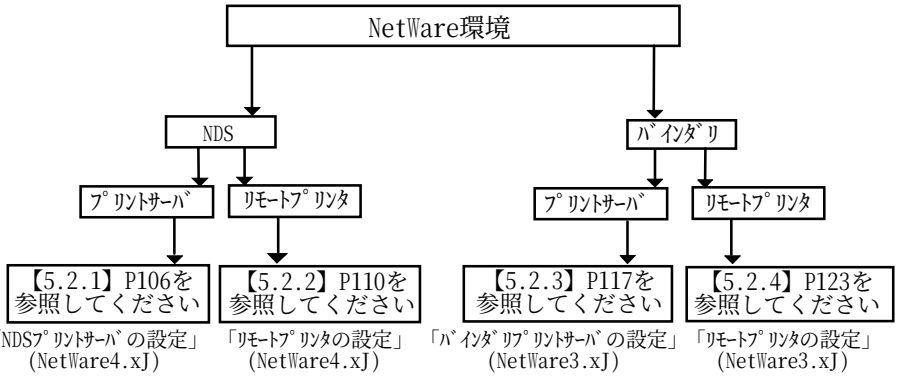
参 考

PCONSOLEの使用方法については、NetWareのマニュアルが参考になります。必要な場合はご覧ください。

■IOCONFIGを使用する前に

「ET-PS1設定ツール」ディスクの「DOS」ディレクトリ中の「DOS.EXE」をハードディスクにコピーし、実行して「IOCONFIG.EXE」を生成する必要があります。（IOADMINのインストール中に「DOSﾓｼﾞｭｰﾙｲﾝｽﾄｰﾙ」をチェックすると、IOADMINをインストールしたディレクトリに「DOS」というディレクトリを作成し、DOS.EXEがコピーされます。）

ここからは、以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



5.2.1 NDSﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ（NetWare4.xJ）の設定方法

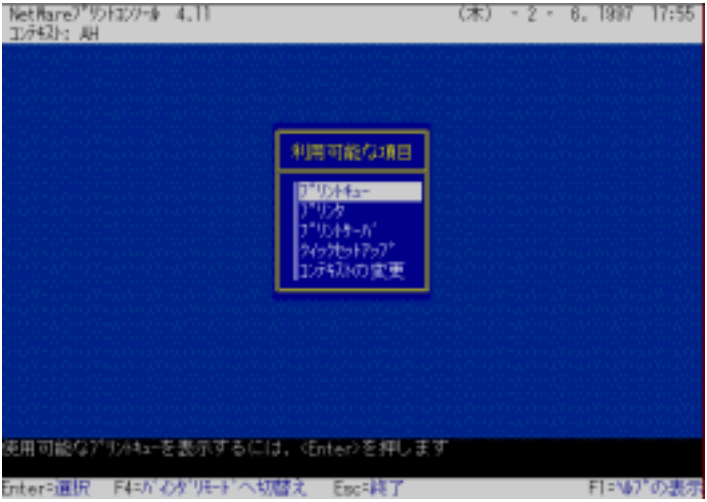
ET-PS1本体を〔2.2 取付方法〕(P9)で取り付けた後、次にNetWareの設定を行って、ET-PS1をプリントサーバとして使用できるようにし、ET-PS1のファームウェアに設定情報を書き込むことが必要です。
ここでは、プリントサーバ用のNetWare 4.xJとET-PS1ファームウェアの設定方法について説明します。

- NetWareの設定（PCONSOLEでの設定）

ここでは、ET-PS1を使用するようにNetWareディレクトリサービス（NDS）を手作業で設定する方法について説明します。ET-PS1ファームウェアにも設定値を書き込む必要があるため、使用する設定値については、何かにメモしておいてください。

1 NetWareに管理者権限でログインします。

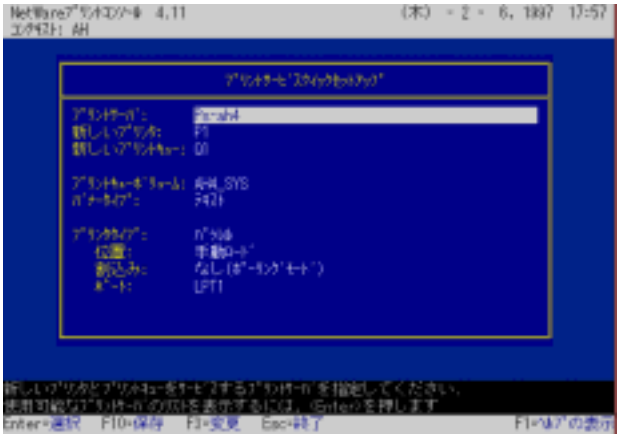
2 PCONSOLEを起動します。



3 ET-PS1をインストールしたいNDSコンテキストに変更します。NDSの現在のコンテキストは、PCONSOLE画面の左上隅に表示されています。コンテキストを変更するには、［利用可能な項目］から［ｺﾝﾃｷｽﾄの変更］を選択します。表示されるメニューから、ET-PS1をインストールしたいコンテキストを選択します。コンテキストの設定については、必要に応じてNetWareのマニュアルをご覧ください。

コンテキスト名は、後で参照できるように何かにメモしておいてください。ET-PS1の設定作業時に、この情報が必要になります。

4 [ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ] を選択します。



[ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾋﾞｽｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ] 画面が表示されます。このダイアログボックスでは、ET-PS1用のパラメータを設定できます。手順**2**の [利用可能な項目] の他のメニューオプションを使用すると、この設定の変更と拡張が可能です。詳細については、NetWareのマニュアルをご覧ください。

5 [ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ] にカーソルを移動し、・キーを押します。

ET-PS1の名前を入力します。この名前が、NetWareネットワーク上でET-PS1を識別するためのノード名になります。

注 意

ET-PS1の名前として19文字を超える名前は使用しないでください。
PCONSOLEではこれより長いプリントサーバ名を入力できてしまいますが、ET-PS1では19文字を超える名前はサポートされていません。
プリントサーバ名の中では、空白文字を使用しないでください。
ハイフン (-) かアンダスコア (_) で代用してください。PCONSOLEではプリントサーバ名に空白文字を入れることが可能ですが、ET-PS1では空白文字はサポートされていません。ただし、ET-PS1のキューやプリンタの名前には、空白文字を使用できます。

6 [新しいﾌﾟﾘﾝﾀ] にカーソルを移動し、・キーを押します。
新しいプリンタ名を入力します。

7 [新しいﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ] にカーソルを移動し、・キーを押します。
新しいプリントキュー名を入力します。

8 表示されている以外のプリントキューボリュームを使用したい場合は、[ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰﾎﾞﾘｭｰﾑ] にカーソルを移動し、・キーを押します。新しいボリューム名を入力するか、〈Insert〉キーを押して既存のプリントキューボリュームを選択します。

9 バナータイプの設定を変更したい場合は、[ﾊﾞﾅｰﾀｲﾌﾟ] にカーソルを移動し・キーを押します。

10 プリンタタイプの設定を変更したい場合は、[ﾌﾟﾘﾝﾀﾀｲﾌﾟ] にカーソルを移動し・キーを押します。

11 割込みの設定を変更したい場合は、[割込み] にカーソルを移動し・キーを押します。

12 [ﾎﾟｰﾄ] にカーソルを移動し、・キーを押します。この設定情報を適用するET-PS1のプリンタポートを選択します。

13 〈Esc〉キーを押して、「設定情報を保存しますか？」というﾒｯｾｰｼﾞに対して [Yes] にカーソルを移動し、・キーを押し、変更内容を保存します。

しばらくすると、画面にプリントサーバの一覧が表示されます。新しく設定したプリントサーバがリストに表示されています。

・ ET-PS1ファームウェアの設定

実際にET-PS1を使用するには、NetWareから得られる設定情報を使ってET-PS1のファームウェアを設定する必要があります。設定は、IOCONFIGで行います。

1 クライアントからファイルサーバに、管理者権限でログインします。

2 DOSをUSモードに変更します。
US・

3 IOCONFIG.EXEが存在するディレクトリまで移動します。
例） cd c:\DOS・
（CドライブのDOSディレクトリにIOCONFIG.EXEが存在する場合）

4 IOCONFIG.EXEを実行します。
IOCONFIG・

5 [Active Device] リストが表示されます。設定を行いたいET-PS1のシリアル番号を選択し、・キーを押します。

6 [Available Options] リストが表示されます。[Set to NetWare Print Server Mode] にカーソルを移動し、・キーを押します。設定項目のリストが表示されます。

7 [Print Server Name] に、ET-PS1で使用するNetWareで作成したプリントサーバの名前を入力します。

8 作成したプリントサーバのNDSツリー名を選択し、コンテキストを入力します。

9 [Execute Setup] にカーソルを移動し、・キーを押します。
保存してよいかどうかの確認メッセージが表示された後、ET-PS1本体に設定情報が書き込まれます。

10 [Exit Utility] 画面が表示されるまで、〈Esc〉キーを繰り返し押します。[Exit Utility] 画面で [Yes] にカーソルを移動し、・キーを押します。

5.2.2 ﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀ（NetWare4.xJ）の設定方法

ET-PS1本体を［2.2 取付方法］(P9)で取り付け後、次に設定済みのネットワークプリントサーバに対するリモートプリンタとして設定します。
ここでは、リモートプリンタ用のNetWare 4.xJとET-PS1ファームウェアの設定方法について説明します。

- プリンタオブジェクトの追加

NetWareプリンタオブジェクトをET-PS1のポートに接続されたプリンタに関連付けるには、次の手順を実行します。リモートプリンタを新たに作成する場合、またはNetWareプリントキューをサービスする新しいプリンタをET-PS1に接続する場合に、この作業を行ってください。

1 NetWareに管理者権限でログインし、PCONSOLEを起動します。

2 ET-PS1をインストールしたいネットワークプリントサーバの存在するNDSコンテキストに変更します。NDSの現在のコンテキストは、PCONSOLE画面の左上隅に表示されています。コンテキストを変更するには、［利用可能な項目］から［ｺﾝﾃｷｽﾄの変更］を選択します。表示されるメニューから、ET-PS1をインストールしたいコンテキストを選

択します。コンテキストの設定については、必要に応じてNetWareのマニュアルをご覧ください。
コンテキスト名は、後で参照できるように何かにメモしておいてください。ET-PS1の設定作業時に、この情報が必要になります。

3 ［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ］を選択し、・キーを押します。
使用したいプリンとサーバを選択し、・キーを押します。

4 ［ﾌﾟﾘﾝﾀ］を選択し、・キーを押します。

5 新しいプリンタを追加するために〈Insert〉キーを2回押します。

6 ET-PS1のプリンタが接続されているポートに、プリンタ名を入力します。このポートに付けた名前は、後でET-PS1のファームウェアの設定時に入力する必要がありますから、何かにメモしておいてください。次の表は、プリンタの命名の例を示したものです。

注 意

参 考

プリンタの名前として19文字を超える名前は使用しないでください。
PCONSOLEではこれより長いプリントサーバ名を入力できてしまいますが、ET-PS1では19文字を超える名前はサポートされていません。
プリンタ名の中では、空白文字を使用しないでください。
ハイフン(-)かアンダスコア(_)で代用してください。PCONSOLEではプリントサーバ名に空白文字を入れることが可能ですが、ET-PS1では空白文字はサポートされていません。
製品出荷時にはET-PS1の名前としてシリアル番号が設定されていますので、上記のプリンタ名の<ET-PS1の名前>の部分には、わかりやすい名前を付けることをお勧めします。

使用するET-PS1のポート	入力する名前（例）
PARALLEL1ポート	＜ET-PS1の名前＞_P1

7 新規に追加したプリンタオブジェクトを選択し、・キーを押します。

8 新しいプリンタオブジェクトが、そのプリントサーバの［サービスプリンタ］リストに表示されます。その新規プリンタオブジェクトの設定を行うために、再度・キーを押します。

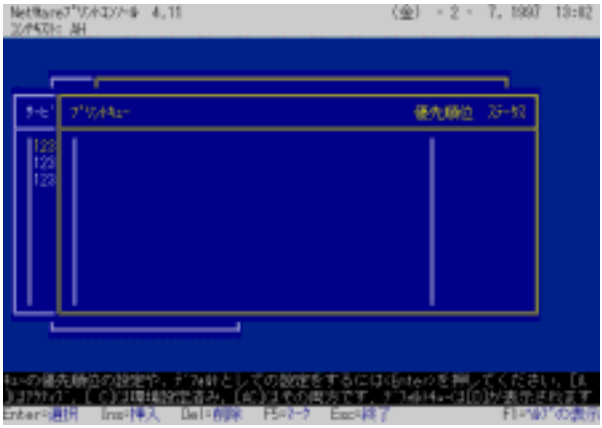
9 [プリンタxxxxの環境設定] 画面で [プリンタタイプ] と [環境設定] の値が、対象となるET-PS1のプリンタポートのものと合っていることを確認します。

10 [プリンタタイプ] の値は、パラレルに設定します。
変更の必要がある場合は、[プリンタタイプ] にカーソルを移動し、・キーを押して、リストから正しいプリンタタイプを選択してください。

11 [環境設定] にカーソルを移動し、・キーを押すと、[ﾊﾟﾗﾚﾙﾌﾟﾘﾝﾀ指定] 画面が表示されます。

ここでは、プリンタオブジェクトが接続されているET-PS1上のポートを選択し、[位置] を [手動ロード] に設定します。

12 このプリンタポートで使用するプリントキューを設定するために、［ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ割当て］にカーソルを移動し、・キーを押します。
プリントキューの一覧が表示されます。



13 新しくプリントキューを割り当てるには、［ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ］画面で、〈Insert〉キーを押します。［ｵﾌﾞｼﾞｪｸﾄ，ｸﾗｽ］画面が表示されます。

14 プリントキューを選択または作成するために、そのプリントサーバのユーザの大多数

が属しているコンテキストに移動します。

15 既存のプリントキューを選択するか、プリントキューを作成するために〈Insert〉キーを押します。プリントキューを作成した場合は、プリンタオブジェクトに割り当てるために、新しいプリントキューの名前を指定してください。

16 作業を終えたら、〈Esc〉キーを押します。
他のすべての値は、環境に合わせて設定する必要があります。
各新規プリンタオブジェクトごとに、手順7～16を繰り返します。

17 プリンタオブジェクトの設定を終えたら、〈Esc〉キーを押して変更内容を保存します。
設定作業をすべて完了したら、PCONSOLEを終了します。

• IOCONFIGによるET-PS1設定情報の更新

実際にET-PS1を使用するには、NetWareから得られる設定情報を使ってET-PS1のファームウェアを設定する必要があります。設定は、IOCONFIGで行います。

1 クライアントからファイルサーバに、管理者権限でログインします。

2 DOSをUSモードに変更します。
US・

3 IOCONFIG.EXEが存在するディレクトリまで移動します。
例） cd c:\DOS・
（CドライブのDOSディレクトリにIOCONFIG.EXEが存在する場合）

4 IOCONFIG.EXEを実行します。
IOCONFIG・

5 [Active Device] リストが表示されます。設定を行いたいET-PS1のシリアル番号を選択し、・キーを押します。

6 [Set to NetWare Remote Printer Mode] にカーソルを移動し、・キーを押します。設定項目のリストが表示されます。

7 「・プリンタオブジェクトの追加」の6（P111）で、プリンタの割当て時に使用した<ET-PS1の名前>と同じ名前を [Device Name] に入力します。出荷時の設定では、デバイス名としてシリアル番号が使用されています。

注 意

「・プリンタオブジェクトの追加」の6（P111）で使用した名前とまったく同じでないと、ET-PS1は動作しません。

8 各プリンタポートごとに、接続されているプリンタがキューをサービスするNetWareプリントサーバの名前を入力します。

9 [Execute Setup] にカーソルを移動し、・キーを押します。
保存してよいかどうかの確認メッセージが表示された後、ET-PS1本体に設定情報が書き込まれます。

10 [Exit Utility] 画面が表示されるまで、〈Esc〉キーを繰り返し押します。[Exit Utility] 画面で [Yes] にカーソルを移動し、・キーを押します。

• プリントサーバの再起動

ET-PS1をNetWare 4.xJ環境のリモートプリンタとしてインストールしたら、インストールされたET-PS1が属しているプリントサーバを再起動するために、次の手順を実行します。この手順説明においては、そのプリントサーバがNetWare 4.xJファイルサーバ上のPSERVER.NLMであり、現在稼働中であるということを前提にしています。

1 プリントサーバNLMが動作中のファイルサーバのSystemコンソールを表示させます。

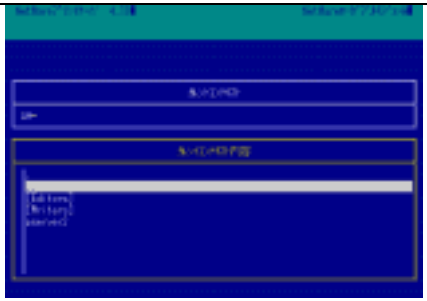
2 [NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ] (NetWare 4.10 Print Server) 画面が表示されるまで、〈Alt〉＋〈Esc〉キーを繰り返し押します。

3 プリントサーバNLMを停止させるために〈Esc〉キーを押します。
NetWareから「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞをｱﾝﾛｰﾄﾞしますか？」というメッセージが表示されます。

4 [Yes] にカーソルを移動し、・キーを押します。
NetWareによりNLMがアンロードされます。

5 Systemコンソールのコマンドプロンプトで、次のように入力します。
load pserver ・
[プリントサーバ名の入力] 画面が表示されます。

6 〈Insert〉キーを押すと、[ｶﾚﾝﾄｺﾝﾃｷｽﾄ内容] リストが表示されます。



7 対象となるプリントサーバを含むコンテキストを選択します。

8 リストからプリントサーバを選択し、・キーを押します。これで、選択されたプリント

サーバがNetWareによって起動されます。

5.2.3 ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ（NetWare3.xJ）の設定方法

ET-PS1本体を〔2.2 取付方法〕(P9)で取り付け後、次にNetWareの設定を行って、ET-PS1をプリントサーバとして使用できるようにし、プリントサーバ用のNetWare 3.xJとET-PS1ファームウェアの設定方法について説明します。

- キューの作成

既存のプリントキューにET-PS1を設定する場合は、この項を読まずに次の「プリントサーバの追加」をご覧ください。それ以外の場合は、次の手順を実行して、新たにET-PS1用のNetWareプリントキューオブジェクトを作成します。新たにET-PS1をインストールする場合や既存のET-PS1に接続されたプリンタでサービスするキューを新たに追加する場合に、以下の作業を行ってください。

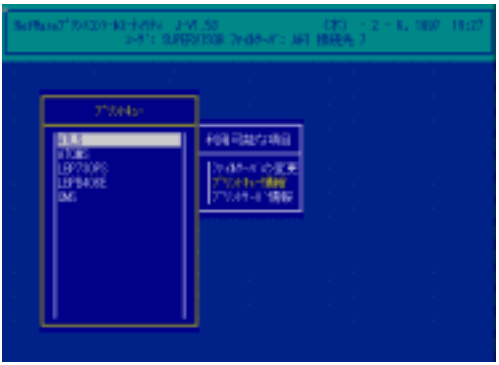
1 スーパバイザまたは同等の権限をもつユーザで、クライアントからNetWareファイルサーバにログインします。ネットワーク上に複数のファイルサーバが存在する場合は、ET-PS1のマスタファイルサーバにしたいファイルサーバにログインします。

注 意

ET-PS1をプリントサーバとしてインストールする場合、ET-PS1のマスタファイルサーバの名前は19文字以内に制限されます。ファイルサーバの名前の長さが19文字を超えている場合は、ET-PS1のマスタファイルサーバとして別のファイルサーバを選択するか、ファイルサーバの名前を短縮するかの、どちらかの対策が必要となります。

2 PCONSOLEを起動します。

3 ［ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報］にカーソルを移動し、・キーを押します。
［ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ］リストが表示されます。



4 リストに新しいプリントキューを追加するために〈Insert〉キーを押します。［新ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ名］画面が表示されます。

5 新しいプリントキューの名前を入力し、・キーを押します。
［新ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ名］画面が消えます。

6 さらにプリントキューを作成･追加したい場合は、手順2～5を繰り返します。

• プリントサーバの追加

ET-PS1を使用するのに必要なNetWareオブジェクトを作成するには、次の手順を実行します。
NetWare 3.xJ環境に新しくET-PS1を設置する場合は、必ずこの作業を行ってください。

1 **PCONSOLEのメインメニューから［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報］を選択します。**
［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ］リストが表示されます。

2 **リストに新しいプリントサーバを追加するために〈Insert〉キーを押します。［新ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名］画面が表示されます。**

注 意

ET-PS1の名前として19文字を超える名前は使用しないでください。
PCONSOLEではこれより長いプリントサーバ名を入力できてしまいますが、ET-PS1では19文字を超える名前はサポートされていません。

3 **プリントサーバ名を入力し、・キーを押します。**
［新ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名］画面が消えます。

4 **［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ］リストに表示される新しいプリントサーバの名前を確認し、何かにメモしておきます。**

• プリンタの割当て

NetWareプリンタオブジェクトを、ET-PS1のポートに接続されたプリンタに関連付けるには、次の手順を実行します。ET-PS1を新たにインストールする場合、またはNetWareプリントキューをサービスする新しいプリンタをET-PS1に接続する場合に、この作業を行ってください。

プリントサーバのポートにプリンタタイプを割り当てるには、次の手順を実行します。

1 **PCONSOLEのメインメニューから［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報］を選択します。**
［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ］リストが表示されます。

2 **［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ］リストから今回追加したプリントサーバを選択し、・キーを押します。**
［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報］メニューが表示されます。

3 **［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成］にカーソルを移動し、・キーを押します。**
［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成］メニューが表示されます。

4 **［ﾌﾟﾘﾝﾀの構成］にカーソルを移動し、・キーを押します。**
［構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ］リストが表示されます。

5 **次の表から、ET-PS1の物理ポートまたは論理ポートを選択し、それに対応するプリンタをPCONSOLEの［構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ］リストから選択し、・キーを押します。［ﾌﾟﾘﾝﾀxの構成］画面が表示されます。**

使用するET-PS1のポート	選択するプリンタ	備考
PARALLEL1ポート	プリンタ0	
論理ポートL1 論理ポートL2 論理ポートL3	プリンタ8 プリンタ9 プリンタ10	前置文字列と後置文字列、および「改行」から「改行＋復帰」への変換について設定可能です。

注 意

ET-PS1の論理ポートは、前置文字列と後置文字列の追加に使用できます。また、プリントサーバの任意の物理ポートに印刷出力するように設定できます。ET-PS1の論理ポートの詳細については、【5.4.3 論理ポートとNetWare】（P132）をご覧ください。

6 [ﾌﾟﾘﾝﾀxの構成] 画面に表示されているデフォルト設定をそのまま使用する場合は、〈Esc〉キーを押します。

7 「設定情報を保存しますか？」というメッセージに対して [Yes] にカーソルを移動し、・キーを押し、変更内容を保存します。

- プリントキューへのプリンタの関連付け

ET-PS1に接続された各プリンタに対して、少なくとも1つのプリントキューを関連付けるには、次の手順を実行します。

1 [ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成] メニューの [ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ] にカーソルを移動し、・キーを押します。
[定義済みのﾌﾟﾘﾝﾀ] リストが表示されます。

2 プリントキューを割り当てたいプリンタを選択し、・キーを押します。
割り当てられているキューのリストが表示されます。

3 リストにキューを追加するために、〈Insert〉キーを押します。［使用可能なｷｭｰ］リストが表示されます。

4 そのプリンタでサービスしたいキューを選択し、・キーを押します。
［優先度］画面が表示されます。

5 優先度を入力して（またはデフォルト設定の1のままで）・キーを押します。
［優先度］画面が消えます。

6 ET-PS1の複数のポートにプリンタを接続している場合は、接続しているプリンタの数だけ、手順2～5を繰り返します。

7 ［PCONSOLEの終了］画面が表示されるまで、〈Esc〉キーを繰り返し押します。
［PCONSOLEの終了］画面で、［Yes］にカーソルを移動し・キーを押します。

• IOCONFIGによるET-PS1設定情報の更新

実際にET-PS1を使用するには、NetWareから得られる設定情報を使ってET-PS1のファームウェアを設定する必要があります。設定は、IOCONFIGで行います。

1 クライアントからファイルサーバに、管理者権限でログインします。

2 DOSをUSモードに変更します。
US・

3 IOCONFIG.EXEが存在するディレクトリまで移動します。
例） cd c:\DOS・
（CドライブのDOSディレクトリにIOCONFIG.EXEが存在する場合）

4 IOCONFIG.EXEを実行します。
IOCONFIG・

5 ［Active Device］リストが表示されます。設定を行いたいET-PS1のシリアル番号を選択し、・キーを押します。

6 ［Set to NetWare Print Server Mode］にカーソルを移動し、・キーを押します。設定項目のリストが表示されます。

7 ［Print Server Name］に、ET-PS1で使用するNetWareで作成したプリントサーバの名前を入力します。

8 [Master File Server] にカーソルを移動し、・キーを押します。ET-PS1のマスタファイルサーバにするファイルサーバを選択し、・キーを押します。

9 [Execute Setup] にカーソルを移動し、・キーを押します。
保存してよいかどうかの確認メッセージが表示された後、ET-PS1本体に設定情報が書き込まれます。

10 [Exit Utility] 画面が表示されるまで、〈Esc〉キーを繰り返し押します。[Exit Utility] 画面で [Yes] にカーソルを移動し、・キーを押します。

5.2.4 ﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀ（NetWare3.xJ）の設定方法

ET-PS1本体を [2.2 取付方法] (P9)で取り付け後、次に設定済みのネットワークプリントサーバに対するリモートプリンタとして設定します。
ここでは、リモートプリンタ用のNetWare 3.xJとET-PS1ファームウェアの設定方法について説明します。

- キューの作成

キューの作成についてはP117を参照してください。

- プリンタの割当て

NetWareプリンタオブジェクトを、ET-PS1のポートに接続されたプリンタに関連付けるには、次の手順を実行します。ET-PS1を新たにインストールする場合、またはNetWareプリントキューをサービスする新しいプリンタをET-PS1に接続する場合に、この作業を行ってください。
プリントサーバのポートにプリンタタイプを割り当てるには、次の手順を実行します。

1 PCONSOLEのメインメニューから [プリントサーバ情報] を選択します。
[プリントサーバ] リストが表示されます。

2 [プリントサーバ] リストから今回追加したプリントサーバを選択し、・キーを押します。[プリントサーバ情報] メニューが表示されます。

3 [プリントサーバ構成] にカーソルを移動し、・キーを押します。
プリントサーバ構成] メニューが表示されます。

4 [プリンタの構成] にカーソルを移動し、・キーを押します。
[構成完了プリンタ] リストが表示されます。

5 **次の表から、ET-PS1の物理ポートまたは論理ポートを選択し、それに対応するプリンタをPCONSOLEの［構成完了プリンタ］リストから選択し、・キーを押します。**
［プリンタxの構成］画面が表示されます。

6 **［名前］にカーソルを移動し、次の表の該当する欄に表示されている名前を入力します。**
この後のET-PS1の設定時にここで使用した名前と同じ名前を入力する必要があります。

注意

プリンタの名前として19文字を超える名前は使用しないでください。
PCONSOLEではこれより長いプリントサーバ名を入力できてしまいますが、ET-PS1では19文字を超える名前はサポートされていません。

参考

製品出荷時にはET-PS1の名前としてシリアル番号が設定されていますので、上記のプリンタ名の<ET-PS1の名前>の部分には、わかりやすい名前を付けることをお勧めします。

使用するET-PS1のポート	入力する名前（例）	選択するタイプ
PARALLEL1ポート	＜ET-PS1の名前＞	リモートパラレル、LPT1

7 **［ﾀｲﾌﾟ］にカーソルを移動し、・キーを押します。**
［プリンタのタイプ］リストが表示されます。

8 **上記の表の該当する欄に表示されているプリンタタイプを選択し、・キーを押しま**

す。

9 〈Esc〉キーを押し、「設定情報を保存しますか？」というメッセージに対して［Yes］にカーソルを移動し、・キーを押し、変更内容を保存します。

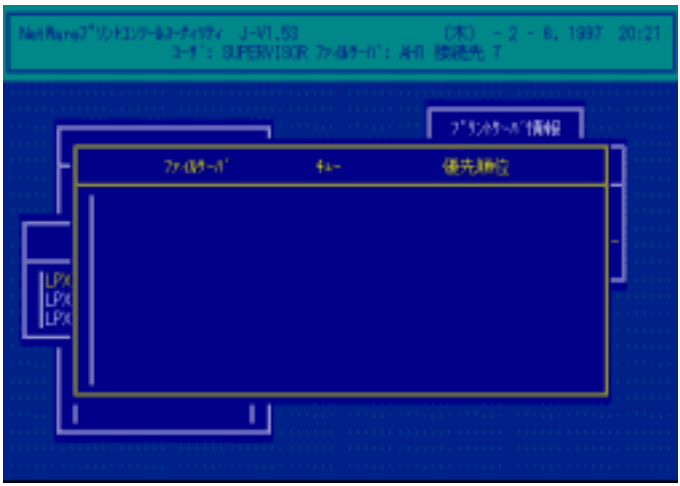
10 ET-PS1に接続されているプリンタすべての設定を終えたら、〈Esc〉キーを押して、［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成］メニューに戻ります。

- プリントキューへのプリンタの関連付け

ET-PS1に接続された各プリンタに対して、少なくとも1つのプリントキューを関連付けるには、次の手順を実行します。

1 ［プリントサーバ構成］メニューの［プリンタでサービスされているキュー］にカーソルを移動し、・キーを押します。
［定義済みのプリンタ］リストが表示されます。

2 プリントキューを割り当てたいプリンタを選択し、・キーを押します。
割り当てられているキューのリストが表示されます。



3 リストにキューを追加するために、〈Insert〉キーを押します。［使用可能なキュー］リス

トが表示されます。

4 そのプリンタでサービスしたいキューを選択し、・キーを押します。
［優先度］画面が表示されます。

5 優先度を入力して（またはデフォルト設定の1のままで）・キーを押します。
［優先度］画面が消えます。

6 ET-PS1の複数のポートにプリンタを接続している場合は、接続しているプリンタの数だけ、操作2～5を繰り返します。

7 ［PCONSOLEの終了］画面が表示されるまで、〈Esc〉キーを繰り返し押します。
［PCONSOLEの終了］画面で、［Yes］にカーソルを移動し・キーを押します。

- IOCONFIGによるET-PS1設定情報の更新

実際にET-PS1を使用するには、NetWareから得られる設定情報を使ってET-PS1のファームウェアを設定する必要があります。ET-PS1のファームウェアの設定には、IOCONFIGが使用できます。

1 管理者権限でログインし、IOCONFIGを起動します。
［Active Device］リストが表示されます。

2 設定作業の対象となるET-PS1のシリアル番号をリストから選択し、・キーを押します。

3 ［Set to NetWare Remote Printer Mode］にカーソルを移動し、・キーを押します。設定項目のリストが表示されます。

4 「・プリンタの割当て」(P123)の**6**で、プリンタの割当て時に使用した<ET-PS1の名前>と同じ名前を［Device Name］に入力します。出荷時の設定では、デバイス名としてシリアル番号が使用されています。

注 意

「・プリンタの割当て」(P123)の**6**で使用した名前とまったく同じでないと、ET-PS1は動作しません。

5 各プリンタポートごとに、接続されているプリンタがキューをサービスするNetWareプリントサーバの名前を入力します。

6 **[Execute Setup] にカーソルを移動し、・キーを押します。**
保存してよいかどうかの確認メッセージが表示された後、ET-PS1本体に設定情報が書き込まれます。

7 **[Exit Utility] 画面が表示されるまで、〈Esc〉キーを繰り返し押します。[Exit Utility] 画面で [Yes] にカーソルを移動し、・ キーを押します。**

5.3 NetWare関連情報

ここでは、NetWare環境でET-PS1を使用する際の一般情報について説明します。NetWareプリントサーバのインストールと管理について、より詳細な情報が必要な場合は、NetWareのマニュアル類をご覧ください。

5.3.1 印刷

プリントサーバとリモートプリンタのどちらの設定でインストールされた場合でも、ET-PS1では、NetWareの標準的な印刷ユーティリティがすべてサポートされています。NetWareで最も一般的な印刷ユーティリティについて、次に紹介します。

■NPRINT

NPRINTは、ファイルをプリンタまたはキューへと送信するものです。
標準的な構文を次に示します。

```
NPRINT ファイル名 [P=プリンタ名 ¦ Q=キュー名] [オプション]
```

たとえば、パソコン上のAUTOEXEC.BATファイルを、バナーも改ページもなしにキュー(TECH-PUBS)に出力する場合は、次のようになります。

```
nprint c:\autoexec.bat q=tech-pubs nb nff
```

次のように一切オプションを付けずにNPRINTを使用すると、構文の詳細とオプション一覧が表示されます。

```
nprint
```

■CAPTURE

CAPTUREは、パソコンのパラレルポート（LPT）からの印刷ジョブをNetWareプリンタまたはプリントキューへと振り向けるものです。いったんCAPTUREコマンドを実行すると、それ以降の印刷ジョブはすべて指定されたNetWareプリンタまたはプリントキューへと送信されます。CAPTUREコマンドの効力は、再度CAPTUREコマンドを実行するかパソコンを再起動するまで継続します。標準的な構文を次に示します。

```
CAPTURE [P=プリンタ名 ¦ Q=キュー名] [L=1または LPT1] [オプション]
```

たとえば、LPT1ポートからの印刷ジョブを、バナーも改ページもなしにキューMARKETINGに振り向ける場合は、次のようになります。

```
capture q=marketing L=1 nb nff
```

次のように「/?」オプションを付けてCAPTUREを呼び出すと、構文の詳細とオプション一覧が表示されます。

```
capture /?
```

5.3.2 ET-PS1の管理

通常、ET-PS1における印刷管理作業の大部分は、NetWareのPCONSOLEを使用することで実行できます。具体的には、キューの追加、削除、変更、プリンタの追加といった作業です。NetWareのプリントサービスに関する、より詳細な情報については、NetWareプリントサービスのマニュアルか、他の関連資料をご覧ください。

■NetWareプリントキューの追加

ET-PS1上のプリンタでサービスするNetWareプリントキューを追加する手順については、次の項目をご覧ください。

NOS	参照先
NetWare4.xJ	「・ NetWareの設定」(P106)
NetWare3.xJ	「・ キューの作成」(P117)

■プリンタの追加

ET-PS1にNetWareプリンタを追加する手順については、次の項目をご覧ください。

NOS	参照先 プリントサーバ設定	リモートプリンタ設定
NetWare4.xJ	「・ NetWareの設定」(P106)	「・ プリンタオブジェクトの追加」(P110)
NetWare3.xJ	「・ プリンタの割当て」(P120)と「・ プリントキューへのプリンタの関連付け」(P121)	「・ プリンタの割当て」(P123)と「・ プリントキューへのプリンタの関連付け」(P125)

■サービス対象のNetWareファイルサーバの追加 (NetWare3.xJ)

ET-PS1がNetWareプリントサーバとしてインストールされている場合、ET-PS1で複数のファイルサーバ上にあるキューをサービスするように設定するには、次の手順を実行します。

1. ET-PS1のマスタファイルサーバとして動作させるためにファイルサーバを1つ選択し、ET-PS1をそのファイルサーバ上にインストールします (すでにそのようにしている場合、この手順は不要です)。詳細は、【5.2.3 バインダリプリントサーバ (NetWare3.xJ) の設定方法】(P.117) をご覧ください。

2. マスタファイルサーバ以外で、キューをET-SP1でサービスするファイルサーバに、クライアントからスーパバイザかそれと同等の権限でログインします。

3. キューをET-PS1でサービスする各ファイルサーバについて、マスタファイルサーバ上でのET-PS1と同一の名前のプリントサーバを、PCONSOLEを使用して作成します。

4. マスタファイルサーバ以外で、ET-PS1でサービスするファイルサーバに、キューを作成します。(すでにそのようにしている場合、この手順は不要です)

5. ET-PS1のマスタファイルサーバに、スーパバイザまたは同等の権限でログインします。

6. PCONSOLEを実行します。

7. PCONSOLEの [ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報] を選択し、プリントサーバのリストからET-PS1を選択します。次に、[ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成] を選択し、[ｻｰﾋﾞｽ中のﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ] を選択します。

8. 〈Insert〉キーを押し、リストに新しいファイルサーバを追加し、リストでそのファイルサーバを選択します。

9. IOCONFIGからRESETコマンドを発行するか、またはET-PS1の電源を再投入するかの、どちらかの操作によって、ET-PS1をリセットします。

■プリンタ状態の入手

プリンタ状態の情報を見れば、そのプリンタがオンライン状態か、オフライン状態か、または印刷しているジョブがNetWare、TCP/IPのどれから送られたものかがわかります。また、

プリンタが現在印刷を実行中かどうかについても、このプリンタ状態から知ることができます。
プリンタ状態を表示するには、IOCONFIGを実行し、[Display Status] から [Printer Port Status] を選択します。これで、プリンタ状態のリストが表示されます。この状態表示は、自動的に更新されるわけではありません。表示内容をリフレッシュして現在の状態を表示するには、再度 [Printer Port Status] を選択してください。

■ET-PS1のリセット

ET-PS1をリセットするには、次の2種類の方法があります。

- ET-PS1の電源を切り、もう一度電源を入れる。
- IOCONFIGを実行し、[ET-PS1] を選択してから [Reset] を選択する。

■デフォルト設定の復旧

ET-PS1を製品出荷時の設定に戻すには、IOCONFIGを実行して [Restore Default Configuration] を選択します。この操作によって、ET-PS1の構成テーブルが製品出荷時の設定内容に戻ります。
ET-PS1を製品出荷時の設定に戻したら、IOCONFIGを使用して、ET-PS1をNetWareプリントサーバかNetWareリモートプリンタのどちらかに設定し直してください。

5.4.3 論理ポートとNetWare

一般にNetWare環境でプリントサーバをインストールする場合、プリントサーバに接続するプリンタの番号は、通常はプリントサーバ上のプリンタポートがすぐわかるように設定します。一般的には、1個の物理ポート上に定義できるプリンタは1台だけです。
ET-PS1では、「論理ポート」と呼ばれる機能を使うことで、ET-PS1が物理的に有するポート数より多数のプリンタを設定できます。論理ポートは、ET-PS1内部のプリンタデバイスです。この機能により、NetWare上では、ET-PS1が実際のポート数よりも多数のプリンタポートをもっているように見えます。実際には、各論理ポートのプリント出力は、ET-PS1の物理ポートに送られることになります。

注 意

ET-SP1の論理ポートがNetWareキューを扱えるのは、ET-PS1がNetWareプリントサーバとして設定されている場合だけです。NetWareリモートプリンタとして設定されている場合、NetWare環境で論理ポートを使用することはできません。

ET-PS1の物理ポート数より多数のプリンタを定義できることに加えて、プリントジョブの設定にも論理ポートを使用できます。論理ポートで設定できる項目を次に示します。

- 各プリントジョブの前に発行される前置文字列（プリンタのエスケープコードかそれと同様のものを使用）を追加する。
- 各プリントジョブの後に発行される後置文字列（プリンタのエスケープコードかそれと同様のものを使用）を追加する。
- 「改行」を「改行＋復帰」に変換する。

論理ポート数は、L1～L3の3個の論理ポートが使用できます。
NetWare環境でET-PS1の論理ポートを使用するには、通常は次の2つの作業が必要となります。

- PCONSOLEを使用して、NetWareプリンタをET-PS1の論理ポートのどれか1つに割り当てる
- IOCONFIGまたはIOADMINを使用して、論理ポートの設定を行う

それぞれの手順について、次に説明します。

① 論理ポートへのNetWareプリンタの割当て

NetWareプリンタをET-PS1の論理ポートに割り当てるには、通常は、ET-PS1に接続されているプリンタを1台選択して、そのNetWareプリンタ番号として、8（論理ポートL1を選択）～10（論理ポートL3を選択）の値を設定します。
論理ポートの詳細については、「・ プリンタの割当て」（P.120）（NetWare 3.xの場合）の表をご覧ください。

NetWareで適切なプリンタ番号を選択したら、次の手順に従ってIOCONFIGを使用し、その番号に対応する論理ポートの設定作業を行います。

② IOCONFIGによる論理ポートの設定
（IOADMINによる設定は、［3.3.4 IPX/SPX用設定(NetWare環境)］内の「論理ポートの設定」（P44）を参照してください。）

①の説明通りに論理ポートへのNetWareプリンタの割当てを行ったら、次の手順に従ってIOCONFIGを使用し、その論理ポートの設定を行います。IOCONFIGの使用方法についてはP83を参照してください。

1 クライアントから管理者権限でログインし、IOCONFIGを起動します。
［Active Device］リストが表示されます。

2 設定作業の対象となるET-PS1のシリアル番号をリストから選択し、・キーを押します。
［Available Options］リストが表示されます。

3 ［Change Configuration］を選択し、・キーを押します。
設定項目のリストが表示されます。

4 ［Logical port Configuration］を選択します。
論理ポート設定項目のリストが表示されます。

5 [Logical ports] リストをスクロールさせ、NetWareプリンタの設定時に選択済みの論理ポートの項目を探し出します。

6 その論理ポートの物理ポートを選択し、・キーを押します。
[Options] メニューが表示されます。

7 [Options] メニューから、ET-PS1上の、論理ポートに接続したい物理ポートを選択します。

8 設定対象の論理ポートの [String Before Job] にカーソルを移動し、・キーを押します。
[String Before Job] 画面が表示されます。プリンタの設定に前置文字列を使用したい場合は、この [String Before Job] 画面で、前置文字列を16進形式で入力します。

注 意

前置文字列と後置文字列は、常に16進形式で入力します。プリンタのマニュアルにプリンタ命令と16進表記との対応表が載っていない場合は、計算器を使ってASCIIコードを16進数に変換してください。
個々の前置文字列および後置文字列の長さは、ASCII文字で15文字 (16進数30桁) 以内に制限されています。
ET-PS1の全論理ポートで入力できる前置文字列と後置文字列の合計は、ASCII文字で44文字 (16進数88桁) 以内に制限されています。

9 設定対象の論理ポートの [String After Job] にカーソルを移動し、・キーを押します。
[String After Job] 画面が表示されます。プリンタを元の設定に戻すために後置文字列を使用したい場合は、この [String After Job] 画面で、後置文字列を16進形式で入力します。

10 設定対象の論理ポートの [Convert LF to CR+LF] にカーソルを移動し、・キーを押します。
[Options] メニューが表示されます。

11 〈改行〉コードを〈改行〉＋〈復帰〉に変換するには、[Yes] を選択します。この変換を行わない場合は、[No] を選択します。

12 複数の論理ポートの設定作業をまとめて行う場合は、各論理ポートについて、操作5～11を実行します。

13 [Select Configuration Item] メニューに戻るには、〈Esc〉キーを押します。

14 [Execute Setup] にカーソルを移動し、・キーを押します。
保存してよいかどうかの確認メッセージが表示された後、ET-PS1本体に設定情報が書き込まれ、ET-PS1がリセットされます。

15 [Exit Utility] 画面が表示されるまで、〈Esc〉キーを繰り返し押します。
[Exit Utility] 画面で [Yes] にカーソルを移動し、・キーを押します。
IOCONFIGが終了します。

5.3.4 設定情報の入手

NetWareを使用している場合、IOCONFIGで次に説明する3種類の方法を使って、設定情報を入手できます。

■画面に表示する

IOCONFIGを使用して、コンピュータの画面上に設定情報を表示できます。その手順を次に示します。

1 管理者権限でログインし、IOCONFIGを起動します。
[Active Device] リストが表示されます。

2 設定作業の対象となるET-PS1のシリアル番号をリストから選択し、・キーを押します。
[Available Options] リストが表示されます。

3 [Display Status] を選択し、・キーを押します。
[Select Display Item] メニューが表示されます。

4 [Device Information] を選択し、・キーを押します。
対応する [Information] 画面が表示されます。この画面にはそのET-PS1の設定情報が表示されます。この画面内の各項目の詳細については、「構成レポートの内容」(P.138) をご覧ください。

■印刷する

IOCONFIGを使用して、ET-PS1に接続されたプリンタから構成レポートを印刷できます。そ

の手順を次に示します。

1 管理者権限でログインし、IOCONFIGを起動します。
[Active Device] リストが表示されます。

2 設定作業の対象となるET-PS1のシリアル番号をリストから選択し、・キーを押します。
[Available Options] リストが表示されます。

3 [Print Diagnostic Report] を選択し、・キーを押します。
[Select Printer Port] メニューが表示されます。

4 ET-PS1のレポートの出力に使用したいポートを選択し、・キーを押します。
そのポートに接続されたプリンタからレポートが出力されます。印刷されたレポート上の各項目の詳細については、「構成レポートの内容」(P.138) をご覧ください。

■ファイルに保存する

後で使用できるように、構成レポートをファイルの形で保存できます。ET-SP1関連の問題についてテクニカルサポートへの問合せを行う場合、このファイルがあると非常に便利です。構成レポートをファイルに保存する手順を次に示します。

1 管理者権限でログインし、IOCONFIGを起動します。
[Active Device] リストが表示されます。

2 設定作業の対象となるET-PS1のシリアル番号をリストから選択し、・キーを押します。[Available Options] リストが表示されます。

3 [Display Status] を選択し、・キーを押します。
[Select Display Item] メニューが表示されます。

4 [Device Information] を選択し、・キーを押します。
対応する [Information] 画面が表示されます。この画面にはそのET-PS1の設定情報が表示されます。この画面内の各項目の詳細については、「構成レポートの内容」(P.138) をご覧ください。

5 〈F4〉 キーを押します。[File Name] 画面が表示されます。構成レポートを保存するファイルの名前を入力します。

注 意

このファイルは、起動したIOCONFIGのファイルと同じドライブの同じディレクトリに保存されます。

■構成レポートの内容

プリントサーバ情報には、ファームウェアのバージョン、ネットワークプロトコル関連の設定、ハードウェアID等の情報が含まれています。この情報は、ET-PS1本体の現在の設定値から読み込まれます。

次の図は、典型的なET-PS1の構成レポートを示したものです。画面表示、印刷、ファイル保存のどの場合でも、このレポートの書式は同じですが、設定状態により表示される内容は異なります。

```
Hardware ID: 0012300A14
Firmware Version: 6010
ProtocolID: 000B
Ethernet Address: 00C002108170
Device Name : ET-PS1_IO
NetWare Info:
   Master File Server: TECHLAB
   Print Server Mode Status:
   TECHLAB312:Connected
   TECHLAB410(NDS):Connected
   Remote Printer Mode Status: N/A
TCP/IP Info:
   IP Address: 0.0.0.0
   Gateway Address: 0.0.0.0
  Subnet Mask: 0.0.0.0
```

構成レポート上の各項目について、次に説明します。

項目	説明
Hardware ID	ET-PS1本体のタイプと改訂レベルを表すコード番号です。
Firmware Version	ET-PS1ファームウェアのタイプと改訂レベルを表すコード番号です。
ProtocolID	現在ET-PS1でサポートされているプロトコルのタイプと改訂レベルを表すコード番号です。
Ethernet Address	ET-PS1のEthernetアドレスです。このアドレスはET-PS1の製造時にセットされるもので、変更はできません。
Device Name	ET-PS1の現在のデバイス名です。
NetWare Info	構成レポートのこのセクション内の各項目には、現在のNovell NetWare関連の設定が表示されます。

Master File Server	ET-PS1が少なくとも1つのバインダリ (NetWare 3.xJ) のファイルサーバ上にインストールされている場合、このレポート項目に、そのET-PS1のマスタファイルサーバ名が示されます。ET-PS1がインストールされている環境がディレクトリサービス (NetWare 4.xJ) だけの場合は、この項目は空白になります。
Print Server Mode Status	ET-PS1がリモートプリンタとしてインストールされている場合、ここには「N/A」と表示されます。プリントサーバとしてインストールされている場合には、そのET-PS1がインストールされているファイルサーバの名前が一覧表示され、そのファイルサーバに対してET-PS1が現在どのような状態であるかについても示されます。
Remote Printer Mode Status	ET-PS1がプリントサーバとしてインストールされている場合、ここには「N/A」と表示されます。リモートプリンタとしてインストールされている場合には、ET-PS1のポート、各ポートが接続されているプリントサーバの名前、およびそのプリントサーバに対してET-PS1が現在どのような状態であるかが、一覧表示されます。
TCP/IP Info	構成レポートのこのセクション内の各項目には、そのET-PS1のTCP/IP構成関連の現在の設定が表示されます。
IP Address	ドットで区切りの10進形式で、ET-PS1の現在のIPアドレスが表示されます。
Gateway Address	ドットで区切りの10進形式で、ET-PS1の現在のデフォルトルータのIPアドレスが表示されます。
Subnet Mask	ドットで区切りの10進形式で、ET-PS1の現在のサブネットマスクのIPアドレスが表示されます。

5.3.5 設定項目の詳細

ET-PS1を、NetWareプリントサーバまたはリモートプリンタとして設定した後でさらに設定の変更を行うには、IOCONFIGを使用します。IOCONFIGを使用してET-PS1の設定を変更する手順を次に示します。

1. **管理者権限でログインし、IOCONFIGを起動します。[Active Device] リストが表示されます。**
2. **設定作業の対象となるET-PS1のシリアル番号をリストから選択し、・キーを押します。[Available Options] リストが表示されます。**
3. **[Change Configuration] を選択し、・キーを押します。パラメータのリストが表示されます。**
4. **変更したい項目を選択し、・キーを押します。**
5. **その項目の編集を行って・キーを押します。**
6. **他の項目も変更したい場合は、必要なだけ、手順4、5を繰り返します。**
7. **[Execute Setup] にカーソルを移動し、・キーを押します。保存してよいかどうかの確認メッセージが表示された後、ET-PS1本体に設定情報が書き込まれます。**
8. **[Exit Utility] 画面が表示されるまで、〈Esc〉キーを繰り返し押します。[Exit Utility] 画面で [Yes] にカーソルを移動し、・キーを押します。**

参 考

〈F1〉キーを押せば、IOCONFIGのオンラインヘルプ情報が表示されます。

付録 1 困った時には

● ハードウェア設置

プリンタにET-PS1を物理的に接続できない。

対処 付属のプリンタ接続ケーブルを使用して、接続してください。その際、付属の固定用マジックテープをご利用ください。

ET-PS1のLEDがすべて消灯している。

対処 電源ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

ET-PS1のエラーLED（赤）が、ずっと点灯したままの状態である。

対処 ET-PS1の電源を切ってリセットし、電源ケーブルの接続を最初からやり直してください。

ET-PS1とネットワーク接続に10BASE-Tを使用しているが、動作しない。

対処 ET-PS1が接続されている10BASE-Tハブ上のポートのリンクLEDを確認してください。そのLEDが消灯している場合は、ネットワークケーブルに問題がないか確認してください。

● Windows環境でご使用の場合

あるアプリケーションの印刷の処理に非常に時間がかかり、出力結果が正しくない。

原因 アプリケーション、プリンタのスプール命令、"1ページ目のデータをスプールしたら、印刷データをプリンタに送る。"をサポートしていない場合に、しばしば発生します。

対処 次の手順で、このオプションを使用不可にしてください。

1.『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』をダブルクリックします。
2.問題が発生するプリンタを選択します。
3.「ﾌｧｲﾙ」メニュー→「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」を選択します。
4.「詳細」タブ→[ｽﾌﾟｰﾙの設定]ボタンをクリックします。
5.「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」のチェックを解除し、[OK] ボタンをクリックします。

Windows95でET-PS1を追加しようとすると、「プリンタが見つからない」というメッセージが表示される。

原因 一部のシステムでは、ローカルプリンタを選択するとプリンタドライバによってプリンタがポーリングされ、処理を完了する前にプリンタがコンピュータに接続されているかどうかを調べられます。プリンタはコンピュータではなくET-PS1プリントサーバに接続されているので、システムは障害を記録し、「プリンタが見つからない」というメッセージを発行します。

対処 メッセージが表示されたら、[ネットワークプリンタ] を選択してプリンタを追加します。ネットワークプリンタを追加するには、以下の操作を行います。

1.プリンタウィザードを起動し、[ネットワークプリンタ] を選択します。
2.[ネットワークパスまたは印刷キュー] テキストボックスに、次のように入力します。
\\54321
3.[次へ] ボタンをクリックします。
4.プリンタウィザードから表示されるオフラインについてのメッセージは無視してプリンタの追加を終了します。
5.インストールが終了したら、[プリンタ] フォルダを開きます。
インストールしたプリンタのアイコンが、現在そのプリンタは使用できないことを示すグレーで表示されているのが確認できます。

6.プリンタのアイコンを選択して、[ﾌｧｲﾙ] メニューの [ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ] を選択します。
7.[詳細] タブを選択します。
8.[印刷先のポート] テキストボックスの矢印をクリックして、

［ET-PS1］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
9.［ﾌｧｲﾙ］メニューの［ｵﾌﾗｲﾝ作業］オプションを非選択にします。

これでプリンタポートがアクティブになります。

説明のとおりにWindows 95でプリンタを接続して設定したが、印刷できない。

原因 WPS（Windows Printing System）プリンタがローカルプリンタとして設定されているとき、印刷データを送信する前にそのプリンタドライバが、プリンタをポーリングします。しかしプリンタは実際はネットワーク上にあるので検知されず、データは送信されません。

対処 WPSプリンタを使用している場合は、そのプリンタをネットワークプリンタとして、前述の「プリンタが見つからない」というメッセージが表示されるの対処で説明されている方法で再インストールします。以下は、一般的なWPSプリンタの一覧です。

Canon LBP-430W
Epson ActionLaser 1300/W
Epson EPL-5500/W
HP LaserJet 5L
Lexmark WinWriter 100/200/400/600
NEC SuperScriptシリーズ
Olivetti PG304
Samsung MyLaser-4/5/6

IOADMINを起動するとエラー「Lanﾄﾞﾗｲﾊﾞが古い(新しいﾄﾞﾗｲﾊﾞをｲﾝｽﾄｰﾙする)または、IPXが初期化されていません。」が出て起動できない。

原因 それぞれ、
Windows95の場合 ……「NetWareﾈｯﾄﾜｰｸｸﾗｲｱﾝﾄ」
WindowsNT4.0の場合 …「Client Service for NetWare」
WindowsNT3.51の場合…「NetWareクライアントサービス」
がインストールされていません。

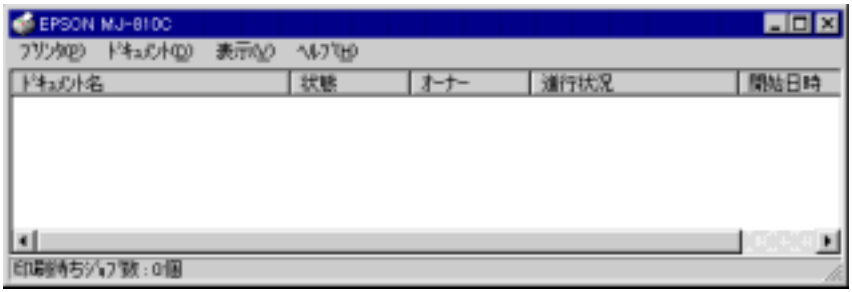
対処 【3.2 IOADMINのインストール】（P12）を参照してそれぞれのサービスをインストールしてください。

EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C,MJ-6000C,MJ-8000C, MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-910C,MJ-930C,PM-700Cで、説明のとおりに Windows95でプリンタを接続して設定したが、印刷できない。

対処 NetBEUIプリンタ･ポートモニタの使用方法の例を以下に記述します。
（TCP/IPプリンタ･ポートモニタの使用方法も基本的に同じです。
例では、「MJ-810C」の場合について説明しています。他の機種の場合は機種名を読み替えてください。）

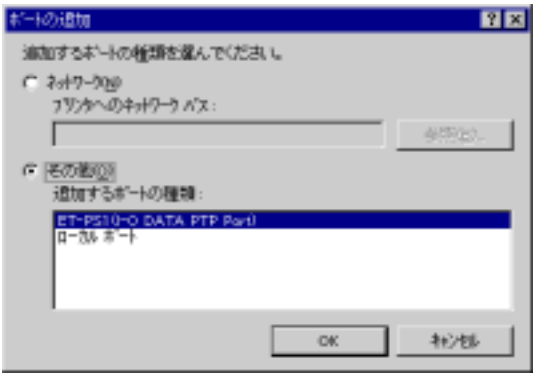
1 『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択し、先に作成した「MJ-810C」をダブルクリックします。

2 『ﾌﾟﾘﾝﾀ』→『ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』を選択します。



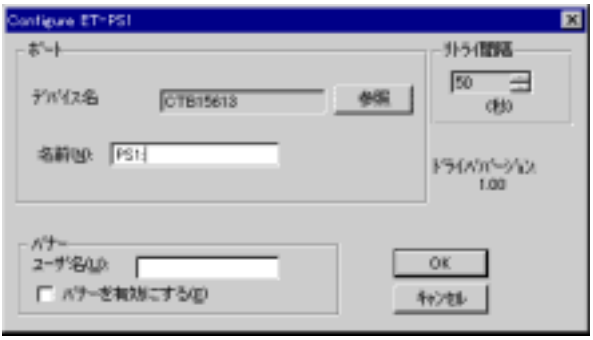
3 「詳細」タブの[ﾎﾟｰﾄの追加]ボタンをクリックします。

4 「その他」の中の「ET-PS1(I-O DATA PTP Port)」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



5 「ﾃﾞﾊﾞｲｽ名」の欄は[参照]ボタンをクリックし、表示されたET-PS1の一覧から、適切なET-PS1を選択します。「名前」欄はここで設定可能なので、半角8文字以内の名前を指定します。**ただし、MJ-810C用のプリンタとして注意する点として、最後の文字は半角で":"（コロン）を使用します。**

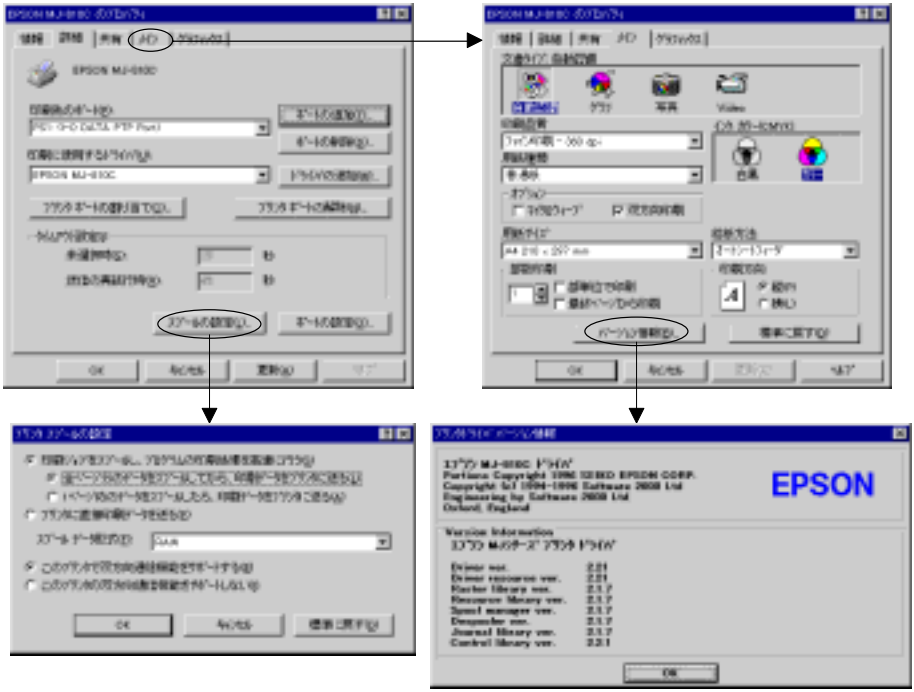
（TCP/IPの場合は「ﾃﾞﾊﾞｲｽ名」欄は「IP ｱﾄﾞﾚｽ」欄になります。）



例では、「名前」に「PS1:」を指定しています。

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックし、ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨに戻ります。

・ここまでの設定終了後のプロパティの画面

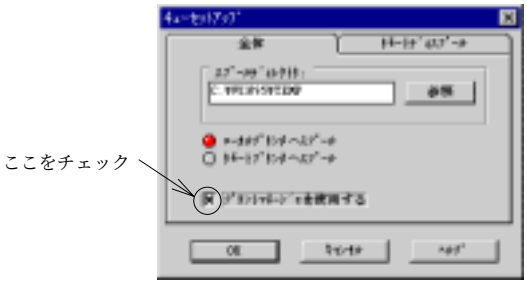


ここまでの状態では、まだ印刷可能になっていません。続いて、次ページからのスプールマネージャーの設定が必要です。

6 **EPSONメニューの『ｽﾌﾟｰﾙﾏﾈｰｼﾞｬ』を起動します。**

7 **作成したプリンタ「EPSON MJ-810 on PS1」を選択します。**

8 **「ﾌﾟﾘﾝﾄﾏﾈｰｼﾞｬを使用する」をチェックし、プリントマネージャを有効にします。**



以上で、ET-PS1でのMJ-810Cの設定は完了です。

● NetWare環境でご使用の場合(DOSユーティリティ使用時)

IOCONFIGの実行時、[Active Device] リストにET-PS1が表示されない。

原因 何らかの理由でET-PS1とワークステーションとの通信に支障がある場合、このようなことが起こります。

対処 次の手順を試してください。

1.ET-PS1の電源が入っていることを確認します。

2.ET-PS1にネットワークケーブルがしっかりと接続されており、接続されているネットワークケーブルが1本だけであることを確認します。

3.1分程度待ってから、IOCONFIGの [Active Device] リストの表示を更新するために〈F2〉キーを押します。この操作を行うのは、NetWareファイルサーバが、ET-PS1の動的情報を記録していない場合があるからです。

4.おそらく、ET-PS1のEthernetフレームタイプが無効とされています。ET-PS1を使用しているPCと同じネットワークセグメントに移動してから、再度IOCONFIGを実行してください。この操作でET-PS1が表示されるようなら、IOCONFIGを使用して適切なEthernetフレームタイプが有効になっているかどうかチェックしてください。

ET-PS1がファイルサーバにログインしない。(プリントサーバモード)

対処 問題の原因を突き止めるために、次の手順を試してください。

1.[5.3.4 設定情報の入手] (P.135) の説明に従って、プリントサーバの情報を入手します。

2.構成レポート上で、そのET-PS1本体のNetWare情報の行を探し出します。情報は、次のような形で表示されています。

```
...
Device Name : MARKETING_PRTRS
NetWare Info:
  Master File Server:
  Print Server Mode Status:
  TECHLAB312:Connected
  TECHLAB410:Connected
  Remote Printer Mode Status: N/A
...
```

3.Print Server Mode StatusとRemote Printer Statusの行をチェックします。「N/A」の文字がどちらか一方に表示され、もう一方には表示されていないはずです。

・ Print Server Mode Statusの行に「N/A」と表示されている場合は、ET-PS1がリモートプリンタとして設定されていることを意味します。

・ Remote Printer Mode Statusの行に「N/A」と表示されている場合は、ET-PS1がプリントサーバとして設定されていることを意味します。

意図したとおりのモードで設定されているかどうか、確認してください。

4.マスタファイルサーバ名が正しく割り当てられているかどうかチェックします。

5.各ファイルサーバ上のET-PS1の状態をチェックします。Connected以外の状態が表示されている場合は、記述内容を次の表と照合し、エラー条件を取り除くためにここに示した対策を実行してください。

プリントサーバモードの状態

表示内容	対策
Connected	不要
Connecting to server	しばらく待機するか、ファイルサーバが存在するかどうか確認します。
Password mismatch	PCONSOLEを使ってET-PS1のパスワードをクリアします。
Print Server not defined	ET-PS1のインストールをやり直します。

6.Print Server Mode Statusのリストに問題のファイルサーバが表示されず、ET-PS1がマスタファイルサーバにログイン済みである場合、それはET-PS1が問題のファイルサーバに対処するように設定されていないということを意味しています。

Print Server Mode Statusのリストに問題のファイルサーバが表示されず、ET-PS1がマスタファイルサーバにログイン済みである場合は、PCONSOLEを使用して、問題のファイルサーバが［サービス中のファイルサーバ］リストにあるかどうか確認してください。ない場合は、そのファイルサーバの名前をリストに追加します。

7.ET-PS1のマスタファイルサーバの名前の長さが19文字を超えていないかどうかチェックします。超えている場合は、19文字以内に収まるように、ファイルサーバ

名を変更します。

ET-PS1がプリントサーバに接続しない。（リモートプリンタモード）

対処 問題の原因を突き止めるために、次の手順を実行してください。

1. 「5.3.4 設定情報の入手」（P.135）の説明に従って、プリントサーバの情報を入手します。
2. 構成レポート上で、そのET-PS1本体のNetWare情報の行を探し出します。情報は、次のような形で表示されています。

```
...
Device Name : ET-PS1_IO
NetWare Info:
  Master File Server:N/A
  Print Server Mode Status:
  ET-PS1_IO:ENGR_312:Connected
 ...
```

3. Print Server Mode StatusとRemote Printer Statusの行をチェックします。「N/A」の文字がどちらか一方に表示され、もう一方には表示されていないはずです。
   - Print Server Mode Statusの行に「N/A」と表示されている場合は、ET-PS1がリモートプリンタとして設定されていることを意味します。
   - Remote Printer Mode Statusの行に「N/A」と表示されている場合は、ET-PS1がプリントサーバとして設定されていることを意味します。

   意図したとおりのモードで設定されているかどうか、確認してください。
4. 構成レポート上の、Remote Printer Statusの後の行をチェックします。ここには、設定済みのポートごとにET-PS1の状態が表示されています。上記の例で次の行に注目してください。

   TECH-PUBS_P1:ENGR_312:Connected

   これは、TECH-PUBSという名前のET-PS1のPARALLEL1ポートにプリントサーバENGR_312が接続されているという意味です。

   Connected以外の状態が表示されている場合は、記述内容を次の表と照合し、エラー条件を取り除くためにここに示した対策を実行してください。

プリントサーバモードの状態	
表示内容	対策
Connected	不要
Unable to find server	ET-PS1が、指定したプリントサーバを検出できません。
Printer # not defined	PCONSOLEを使用して、プリンタ名が正しくセットされているかどうか確認します。

5.Remote Printer Mode Statusのリストに問題のプリントサーバが表示されない場合、それは問題のファイルサーバがET-PS1で扱われていないということを意味しています。問題のファイルサーバが［サービス中のファイルサーバ］リストにあるかどうか確認してください。ない場合は、そのファイルサーバの名前をリストに追加します。

6.プリントサーバの名前の長さが19文字を超えていないかどうかチェックします。超えている場合は、19文字以内に収まるように、プリントサーバ名を変更します。

ET-PS1がキューからのプリントジョブを出力しない。

対処 **問題の原因を突き止めるために、次の手順を実行してください。**

1.ET-PS1に接続されたプリンタに電源が入っていること、オンライン状態であること、用紙がセットされていることを確認します。

2.PCONSOLEを使用して、キューの現在の状態をチェックします。PCONSOLEを実行して、[プリントキュー情報] から問題のキューを選択し、[現在のキュー状態] を選択します。この画面で [YES] が3つ並んでいるかどうか確認します。[YES] になっていないものがある場合は、[YES] にセットします。

3.プリンタ番号の定義が適切かどうかチェックします。論理ポートの詳細については「・プリンタの割当て」(P.120) (NetWare 3.xJの場合) の表をご覧ください。

4.ET-PS1の論理ポートを使用している場合は、IOCONFIGを使用して、その論理ポートの設定が適切かどうか確認します。論理ポートの設定が適切であることを確実にするには、「② IOCONFIGによる論理ポートの設定」(P.133) の操作手順を繰り返し実行します。

5.キューをPCONSOLEの [プリントサーバ構成] メニューを使用して追加した場合は、プリントサーバを再起動してみます。[プリントサーバ構成] で追加したキューは、プリントサーバを再起動後でないとサービスされません。キューの追加後、プリントサーバが再起動されていることを確認してください。

参 考

キューの追加後にプリントサーバを再起動したくない場合は、キューの追加操作にPCONSOLEの [プリントサーバ状態] の [制御] メニューを使用してください。この方法で追加されたキューは、ただちに有効になります。ただし、この種のキューは、プリントサーバを再起動すると、必ずその時点でサービス対象のキューのリストから削除されます。

6.キューをPCONSOLEの [プリントサーバ状態] の [制御] メニューを使用して追加した場合は、PCONSOLEを使用して、そのキューがET-PS1のサービス対象のキューのリスト内にまだ存在しているかどうかチェックします。
PCONSOLEを実行して、[プリントサーバ情報] [プリントサーバ構成] [プリンタでサービスされているキュー] を選択します。ここで目的のプリンタを選択し、問題のキューがリストにあるかどうか確認します。ない場合は、〈Insert〉キーを押

してからキューを選択することで、キューをリストに追加します。そして、ET-PS1が新しいキューをサービスするように設定するため、ET-PS1をリセットします。

7.サービス対象のキューの数の総計が56個以内であることを確認します。56個を超えるキューが割り当てられている場合は、使用されていないキューを削除してください。

NetWareプリントキューの追加または変更後にET-PS1がリセットしてしまう。

対処 プリントキューの追加または変更後にET-PS1を再起動すると何らかの不都合がある場合、PCONSOLEの［プリントサーバ状態］の［制御］メニューを使用すれば、一時的な変更ができます。その後で、PCONSOLEの［プリントサーバ構成］を使用して、ファイルサーバの設定を変更します。一時的な変更はただちに有効となるので、ET-PS1を再起動することなく新しい設定を使用できます。ET-PS1が再起動された時点で、一時的な変更は削除され、恒久的な変更内容の方が有効になります。

PCONSOLEの［プリントサーバ状態］の［制御］メニューを使いたいが、設定を変更できない。

原因 プリントサーバオペレータ以外のユーザに対しては、［プリントサーバ状態］の［制御］メニューの機能は読取り専用になります。

対処 プリントサーバオペレータのステータスを割り当てるには、まずスーパバイザ権限でログインします。PCONSOLEを実行し、［プリントサーバ情報］を選択してから、プリントサーバ名を選択します。次に［プリントサーバオペレータ］を選択します。ここで〈Insert〉キーを押して、プリントサーバオペレータのリストに追加したいログイン名を追加します。

ジョブが2つに分断される。

原因 CAPTUREコマンドのタイムアウト設定時間が短すぎる可能性があります。

対処 CAPTUREコマンドの /TI=nオプションを使用してタイムアウト時間を長く変更してみてください。

ET-PS1に接続されているプリンタの印刷内容に異常がある。

対処 **問題の原因を突き止めるために、次のテストを実行してください。**

〔テスト1〕テキストとグラフィックの印刷を比較する

テキストファイルは正常に印刷されるのにグラフィックファイルの印刷には異常がある場合は、/NTオプション（タブコードの置換を行わない）を指定してNPRINTまたはCAPTUREコマンド（〔5.3.1 印刷〕（P128）参照）を実行します。両方とも正常に印刷される場合は、テスト2の操作3に進んでください

〔テスト2〕診断レポートの印刷にも異常が出るか確認する

1.管理者または同等の権限でネットワークにログインします。

2.IOCONFIGを起動します。〔Active Device〕リストが表示されます。

3.〔Active Device〕リストからテスト対象のET-PS1を選択し、・キーを押します。〔Available Options〕メニューが表示されます。

4.〔Print Diagnostic Report〕を選択し、・キーを押します。〔Select Printer Port〕メニューが表示されます。

5.問題のプリンタが接続されているポートを選択し、・キーを押します。選択したプリンタに診断レポートが出力されます。

6.〔Exit Utility〕画面が表示されるまで、〈Esc〉キーを繰り返し押します。〔Exit Utility〕画面で〔Yes〕にカーソルを移動し、・キーを押します。IOCONFIGが終了します。

7.診断レポートを調べて、他のプリンタ出力と同様の異常があるかどうか確認します。同様の異常がある場合は、問題の原因はおそらくプリンタ本体かET-PS1とプリンタ本体を接続するケーブルです。診断レポートの印刷が他の出力とは異なって正常な場合は、おそらくET-PS1の設定に問題があります。

[テスト3] プリンタをワークステーションに接続して、キューの内容をプリンタにコピーする

①PCONSOLEを起動し、ET-PS1のキューへのスプールを一時的に無効にしてそのキューのオブジェクトIDを検出するために、PCONSOLEを使用します。

■NetWare3.xJの場合

1. [プリントキュー情報] を選択し、ET-PS1で使用しているキューを選択します。
2. [現キュー状況] を選択します。
3. [サーバーはキューを登録しサービスできます] の設定を [NO] にします。
4. 〈Esc〉 キーを押し、[プリントキューID] を選択します。
5.キューのオブジェクトIDを何かにメモします。

■NetWare4.xJの場合

1. [プリントキュー] を選択し、ET-PS1で使用しているキューを選択します。
2. [状況] を選択します。
3. [現在のプリントサーバでサービスする] の設定を [NO] にします。
4. 〈Esc〉 キーを押し、[情報] を選択します。
5.キューのオブジェクトIDを何かにメモします。

②これでET-PS1のキューに対するサービスは無効になったので、印刷に異常のあったファイルのうちの1つを探し出して、無効にされたキューにそのファイルを出力します。

次の手順に従って、ネットワーク印刷をローカル印刷にするように、ルートを再設定します。

1.ET-PS1に接続されたプリンタを取り外して、ワークステーションの任意のパラレルポートに接続し直します。

2.カレントドライブを、対象となるプリントキューを含むファイルサーバ上のドライブに変更します。たとえば、「n:」と入力します。

3.DOSのCDコマンドを使って、NetWareのシステムディレクトリの無効にされたキューを含むサブディレクトリを、カレントディレクトリにします。事前にメモしておいたオブジェクトIDと照合すれば、目的のキューが探し出せます。
たとえばメモしたオブジェクトIDが「38000001」だった場合は、次のように入力します。

```
cd  \system\38000001.qdr ・
```

4.キューの内容をワークステーションのハードディスクにコピーするために、/bスイッチ付きでCOPYコマンドを使用します。たとえば次のようにします。

```
copy  /b  *.*  c:\test ・
```

5.キューの内容をワークステーションのハードディスクからそのワークステーションに接続されたプリンタにコピーするために、/bスイッチ付きでCOPYコマンドを使用します。たとえば次のようにします。

```
copy  /b  c:\test  LPT1 ・
```

③プリンタをワークステーションのパラレルポートから取り外して、ET-PS1に接続し直します。

④PCONSOLEを起動し、ET-PS1のキューへのスプールを再び有効にするために、PCONSOLEを使用して次の手順を実行します。

■NetWare3.xJの場合

1. [プリントキュー情報] を選択し、ET-PS1で使用しているキューを選択します。
2. [現キュー状況] を選択します。
3. [サーバーはキューを登録しサービスできます] の設定を [YES] にします。

■NetWare4.xJの場合

1. [プリントキュー] を選択し、ET-PS1で使用しているキューを選択します。
2. [状況] を選択します。
3. [現在のプリントサーバでサービスする] の設定を [YES] にします。　ET-PS1

に接続されたプリンタに、プリントジョブが出力されます。
4.PCからのプリント出力結果とET-PS1からのプリント出力結果を比較します。

結果がまったく同一ならば、ET-PS1には問題ありません。考えられる原因としては、不適切なプリンタドライバを選択している可能性もあります。またCAPTUREコマンドのタイムアウト設定時間が短すぎる可能性もあります。

プリンタ出力結果が同一でない場合は、ET-PS1に問題があると考えられます。テクニカルサポートにお問い合わせください。

付録2 用語解説

10BASE2 (ﾃﾝﾍﾞｰｽ ﾂｰ)

直径約5mmの同軸ケーブル (Thin Ethernetケーブル) を使用するEthernetのIEEE仕様。伝送速度は、10Mbps。

10BASE-T (ﾃﾝﾍﾞｰｽ ﾃｨｰ)

非シールドのツイストペアケーブルを使用するEthernetのIEEE仕様。伝送速度は、10Mbps。

BNC (ﾋﾞｰｴﾇｼｰ)

10BASE2用同軸ケーブルを接続するために使用されるコネクタ。半回転ひねってロックする口があります。

IEEE 802.3 規格 (ｱｲﾄﾘﾌﾟﾙｲｰ ﾊﾁﾏﾙﾆﾃﾝｻﾝ ｷｶｸ)

ローカルエリアネットワークの物理的、電気的特性の標準規格の1つ。
IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)によって規格化されました。
IEEE.802.3u規格は100Mbpsについて取り決めたもの。

IPX/SPX (ｱｲﾋﾟｰｴｯｸｽ/ｴｽﾋﾟｰｴｯｸｽ) プロトコル

(Internet Packet eXchange / Sequenced Packet eXchange)
Novell 社が、Xerox Network Standard(XNS)を参考に開発した独自のプロトコルで、NetWare3.11以前のバージョンではNetWareで使える唯一のプロトコルでした。特徴はクライアント側に細かな設定が不要であるという点で、IPアドレスなどを自動で設定します。

LPR（エルピーアール）

印刷プロトコルのひとつです。UNIXの印刷コマンドとして知られています。パソコンネットワークの普及にともなって、パソコン上のOSもこの印刷プロトコルによる印刷ができるようになってきました。WindowsNTでは標準でLPRを持っています。

NetBEUI（ネットビュウイ）プロトコル

（NetBios Extended User Interface）
IBMにより、1985年に開発されたプロトコルの名称。Microsoft Network/LANmanagerやIBM LANserverなどに採用されています。TCP/IPより高速で、Windows NTやOS/2 Warp Serverなどでは今でも使用できますが,NetBEUIにはルーティングできないという致命的な欠点がありネットワークの分割が不可能なため、大規模なネットワークでは事実上使用する事ができません。

NetWare（ネットウェア）

ノベル社のネットワークオペレーティングシステム(異なったプラットホーム間の通信･データ共有を実現するシステム)。
NetWare Core Protocol(NCP)、Internetwork Packet Exchange(IPX)、そしてSequential Packet Exchange(SPX)のプロトコルを使用します。

RJ-45 Connector（アールジェイ ヨンゴ コネクタ）

ツイストペアケーブルを接続するコネクタで最も普及している形式です。

TCP/IP (ﾃｨｰｼｰﾋﾟｰ/ｱｲﾋﾟｰ) [Transmission Control Protocol/Internet Protocol]

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル一式。主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含みます。

トラフィック (Traffic)

ネットワークの情報量を指します。

バナーページ

ひとつひとつの印刷ジョブの先頭に付加する区切りページです。NetWareやLPRの印刷では、ユーザ名などが記載されています。ピアツーピア印刷では、ユーザがバナーページに表示する文字を設定できます。ネットワークプリンタでは多くの人が印刷を行うので、誰が印刷した文書か見分けるときに効果的です。

ピアツーピア (peer to peer)

パソコン同士を対等 (peer to peer) に接続する小規模LANのことです。

プリントキュー

プリントジョブをプリンタに転送する前に一時的に保存して置く場所です。この一時的に保存して置く動作を「キューイング」といいます。プリントキューにはプリントキュー名があり、NetWareではプリントキュー名を指定して印刷を行います。

付録3 ハードウェア仕様

ET-PS1 (プリントサーバー)

ネットワーク接続	10BASE2/10BASE-T
プリンタ接続	パラレルポート1個 (セントロニクスコネクタ) LPT1
外見寸法 (mm)	62×94×30 (幅×長×高)
重量	180g (ACアダプタを除く)
消費電力	4.5W (500 mA,9VDC)
使用温度範囲	0 ～ 40°C
保存温度範囲	-10 ～ 70°C
使用湿度範囲	10 ～ 80%
保存湿度範囲	5 ～ 90%

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

弊社PLANTコールセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (フロッピィディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■郵便

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「ET-PS1」係　宛

■電話

電話番号　東京　03-5256-2010
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■オンライン (パソコン通信)

インターネット　http://www.iodata.co.jp/
IOS-NET　アイ・オー・データ機器フォーラムのサポートセンター
NIFTY-Serve　アイ・オー・データステーション(SIODATA)サポート会議室

IOS-NETのアクセスポイントや概要については「サポートソフトのバージョンアップ」をご覧ください。

LAN製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■IOS－NET

アクセスポイント

東京　03-5295-6570　　大阪　06-368-2291
金沢　076-234-9811　　VTX(*) 166-77100

『アイ・オー・データ機器フォーラム』→『サポートソフトライブラリ』を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。

(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN (ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄなし,8bit DATA,ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1, X ON,ｼﾌﾄ制御なし)				
使用文字コード	シフトJIS		制限時間	30分	
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

■その他のパソコン通信

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　　http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
NIFTY-Serve　ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ9(LIB 9)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「ET-PS1」 バージョンアップ係　宛

電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社PLANTコールセンターへご依頼ください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANTコールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

●修理品送付先

〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
住所　株式会社アイ・オー・データ機器
「ET-PS1」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

ET-PS1 取扱説明書
1998.Feb.12 11003-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1998 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにお貼りください。

VERシール